



学校法人 上智学院
SOPHIA SCHOOL CORPORATION



事業報告書

SOPHIA ANNUAL REPORT 2024

目次

法人の概要

組織図	3
役員・設置学校等	4
中長期計画「グランド・レイアウト3.0」 および「2024年度事業計画」進捗報告	5
全学的トピックス	8

高等教育部門

施設等の状況	12
上智大学	
教職員数等	13
学生数	14
2024年度実施入試(2025年度入学)	16
卒業・修了者数等	18
進路／就職	19
国家試験・資格等	20
国際交流	21
学生納付金	24
奨学金	26
研究・知的財産等	27
事業の概要	28
上智大学短期大学部	
教職員数等／学生数／卒業生数等	32
進路／就職／国際交流	33
学生納付金／奨学金／事業の概要	34

中等教育部門

栄光学園中学高等学校	35
六甲学院中学校・高等学校	37
広島学院中学校・高等学校	39
上智福岡中学高等学校	41

財務の概要

学校法人会計基準について	43
2024年度決算の概要	44
2024年度特別予算執行報告	49
財務比率の推移	50
資産運用の状況	52
収益事業の状況	53
その他	54
経営状況の分析等	56
学校法人上智学院が展開する主な事業会社	57
沿革	58

はじめに



学校法人上智学院 理事長
アガスティン サリ

ここに学校法人上智学院の2024年度事業報告書を公表するにあたり、ご挨拶申し上げます。本年も、残念ながら各地で記録的な大雨や山火事など自然災害が発生し、多くの方が被害を受けました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。本学院では募金活動や学生ボランティアの派遣、復興に関する研究を通じ、被災された方に寄り添いながら、引き続き支援を続けてまいります。

2024年は上智大学にとって、新たな挑戦を進めた年でした。研究面では、若手研究者の育成支援を目的とした「次世代研究者挑戦的研究プログラム (SPRING)」を通じ、次世代を担う研究者の成長を後押しする取り組みを始めました。教育面では、大学生だけでなく、高校生や社会人など全ての人に多様な学びの機会を提供するSophia Future Design Platform構想に基づき、「上智地球市民講座」や「ソフィア・アントレプレナーシップ・ネットワーク」を開始しました。このような取り組みにより、社会課題解決に貢献できる市民の育成を目指してまいります。

また、法人としては、ダイバーシティ推進室とサステナビリティ推進室を再編し、ダイバーシティ・サステナビリティ推進室を設立しました。これまで各組織が進めてきた啓発活動や制度・環境の整備を引き継ぎつつ、より包括的な取り組みを展開しています。その一環として、四谷キャンパス2号館にBreeze Loungeをオープンしました。学生職員との協働により完成したラウンジは「誰もが自然に心地よく使える、風通しの良さをイメージした空間」をコンセプトとし、環境に配慮した素材を使用した家具やインクルーシブトイレを設置しました。また、7号館の改修にも着手し、外観は既存デザインを生かしたまま、内装・設備を最新のものへ更新を進めております。今後もキャンパスの学修・研究環境向上を継続的に進めてまいります。

短期大学部では、昨年4月に最後の入学者を迎えました。卒業までの間、これまでと変わらず質の高い教育と進路支援に努めてまいります。また、多文化共生や地域との連携に関する教育・研究も継続し、社会への貢献を図ってまいります。

中等教育部門4校では、イエズス会の教育精神に基づき「ひとり一人を大切に育てる文化を育てる」ための取り組みを強化し、教育と生徒指導の質を高めています。国内外のカトリック校との交流も広がりを見せており、少子化の進行に対応すべく、各校の特長を一層際立たせてまいります。

このような取り組みは、いずれも2023年度より始動した「グランド・レイアウト3.0—2030に向けて—」(以下、GL3.0)の達成に寄与するものです。今後も2030年に向けたGL3.0の推進に力を注いでまいります。

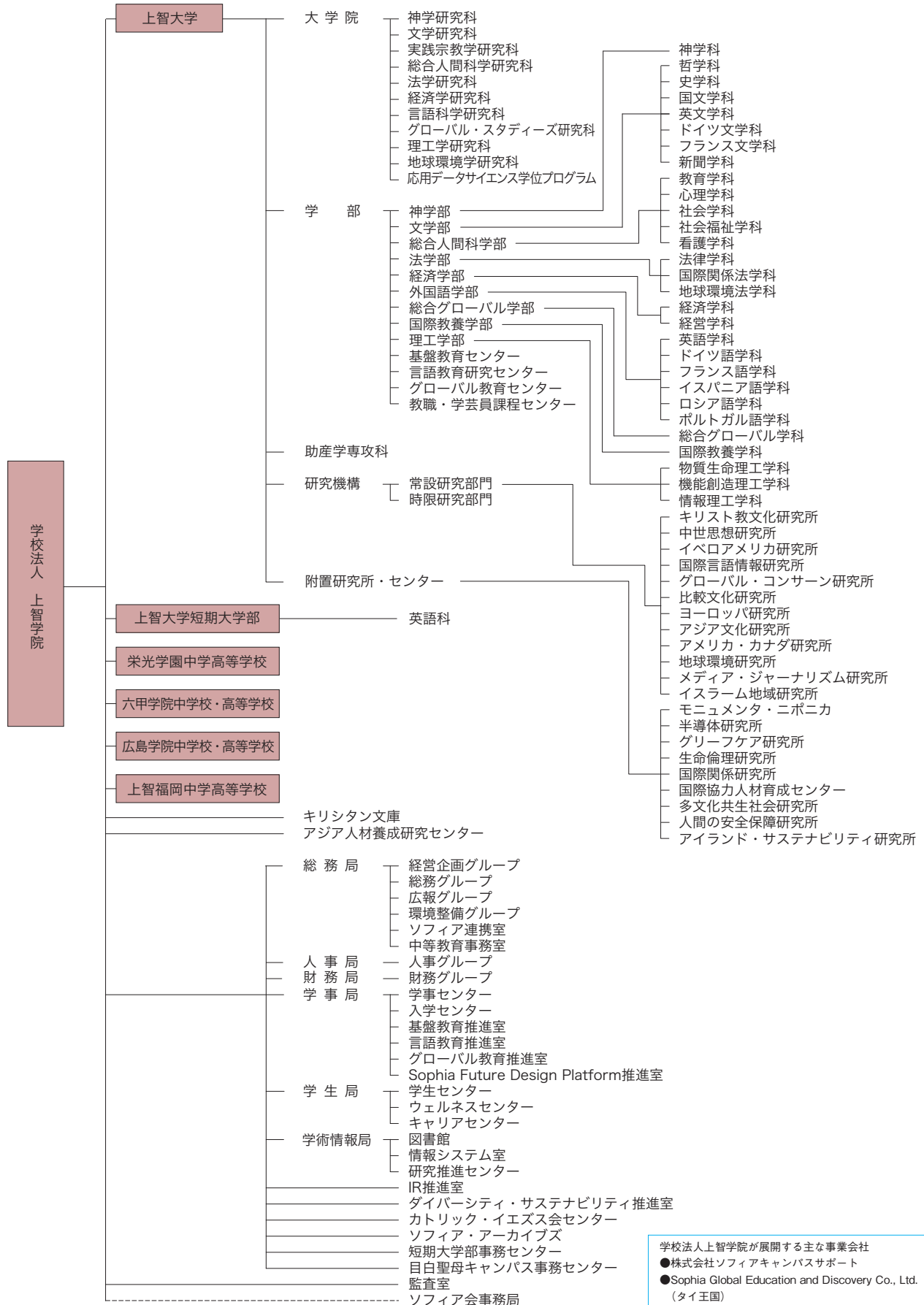
最後に、世界各地では紛争や戦争が続いており、依然として情勢は不安定です。私たちはカトリック大学として、特に弱い立場に置かれている人々を大切にし、その声に耳を傾けることが求められる中、イエズス会教育機関としての使命を果たし、平和と正義の実現に向けて努力を続けてまいります。そして、教育と研究を通じて社会に貢献することを目指してまいります。今後ともご関係の皆様から温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

上智学院各設置学校共通の教育精神

「他者のために、他者とともに (For Others, With Others)」生きる人の育成

上智学院の各設置学校では「他者のために、他者とともに (For Others, With Others)」生きる人の育成という教育精神に基づき、キリスト教ヒューマニズムに立脚した教育、研究、社会貢献・国際貢献を展開して参ります。「上智」という名称は、伝統的なカトリックの祈り「聖母マリアの連祷」の中の一句である「上智の座」に由来し、「最上の叡智」を意味します。

組織図



法人の概要

高等教育部門

中等教育部門

財務の概要

役員・設置学校等

理事 (定員13人以上15人以内)

(2025年3月31日現在)

役職	氏名	就任日 ^(注1)	主な現職	備考 ^(注2)
理事長・イエズス会高等教育担当理事	アガスティン サリ	2023. 5. 1	上智大学教授	業・保
イエズス会中等教育担当理事	李 聖一	2016. 4. 1		業・保
総務担当理事	大塚 寿郎	2023. 7. 1	上智大学特別契約教授	業・保
人事担当理事	矢島 基美	2023. 4. 1	上智大学特任教授	業・保
財務担当理事	舌津 一良	2013. 1. 1		業・保
グローバル化推進担当理事	ブテンカラム ジョンジョセフ	2016. 2.29	上智大学特別契約教授	業・保
経営企画担当理事	引間 雅史	2017. 2. 1	上智大学特任教授	業・保
理事	曄道 佳明	2017. 4. 1	上智大学長、同大学教授	業・保
	山本 浩	2016. 4. 1	上智大学短期大学部学長、同短期大学部特任教授	業・保
	船橋 巖	2024. 4. 1	上智福岡中学高等学校校長、同校教諭	業・保
	高橋 純雄	2022. 4. 1	六甲学院中学校・高等学校校長、同校教諭	業・保
	堀田 健介	2005. 5.14	株堀田総合事務所会長	非・責・保
	木村 増夫	2021. 4. 1		業・保
	崎川 茂郎	2014. 4. 1	株ビジョナリーバリュージャパン代表取締役	非・責・保
	日比谷 潤子	2024. 4. 1	学聖心女子学院理事・評議員	非・責・保

監事 (定員：2人以上4人以内)

(2025年3月31日現在)

役職	氏名	就任日 ^(注1)	主な現職	備考 ^(注2)
監事	渡部 博	2023. 6. 1	公認会計士	非・責・保
	寺田 勇文	2022. 4. 1	学清泉女子大学理事	非・責・保
	金子 泰輔	2011. 6. 1	弁護士	非・責・保
	萱場 基	2016. 4. 1	学雙葉学園理事長	非・責・保

学長・校長

(2025年3月31日現在)

役職	氏名	就任日
上智大学学長	曄道 佳明	2017. 4. 1
上智大学短期大学部学長	山本 浩	2013. 9.13
栄光学園中学高等学校校長	柳下 修	2024. 4. 1
六甲学院中学校・高等学校校長	高橋 純雄	2021. 4. 1
広島学院中学校・高等学校校長	中間 哲也	2022. 4. 1
上智福岡中学高等学校校長	船橋 巖	2022. 4. 1

(注1) 就任日は、現在に至る就任期間の最初に就任した年月日を記載 (注2) 非=非常勤、業=業務執行理事、責=責任限定契約締結、保=役員賠償責任保険^(*)対象

※役員賠償責任保険の概要

2020年4月の私立学校法改正に伴い、2020年度以後、役員賠償責任保険に加入している。この保険は、学校法人の役員(被保険者)が役員として行った業務に起因して損害賠償請求を受けた場合に、被保険者が法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害に対して、保険金を受け取ることができるものである。被保険者の範囲は、役員、評議員及び管理職従業員。

設置学校・所在地

(2025年3月31日現在)

設置学校	学部・学科・研究科等	所在地
上智大学	<ul style="list-style-type: none"> 神学部、文学部、総合人間科学部、法学部、経済学部、外国語学部、総合グローバル学部、国際教養学部、理工学部 神学研究科、文学研究科、実践宗教学研究科、総合人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、言語科学研究科、グローバル・スタディーズ研究科、理工学研究科、地球環境学研究科、応用データサイエンス学位プログラム 	四谷キャンパス 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1
	総合人間科学部看護学科、助産学専攻科	目白聖母キャンパス 〒161-8550 東京都新宿区下落合4-16-11
	神学研究科	石神井キャンパス 〒177-0044 東京都練馬区上石神井4-32-11
	(グラウンド)	秦野キャンパス 〒257-0005 神奈川県秦野市上大槻山王台999
	(グリーンフケア研究所人材養成講座等を開講)	大阪サテライトキャンパス 〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎3-12-8 サクラファミリア2階
上智大学短期大学部	英語科	秦野キャンパス 〒257-0005 神奈川県秦野市上大槻山王台999
栄光学園中学高等学校		〒247-0071 神奈川県鎌倉市玉縄4-1-1
六甲学院中学校・高等学校		〒657-0015 兵庫県神戸市灘区篠原伯母野山町2-4-1
広島学院中学校・高等学校		〒733-0875 広島県広島市西区古江上1-630
上智福岡中学高等学校		〒810-0032 福岡県福岡市中央区輝国1-10-10

中長期計画「グランド・レイアウト3.0」および「2024年度事業計画」進捗報告

2023年度より始動した中長期計画「グランド・レイアウト3.0 (GL3.0)」(2023年度～2030年度)では、法人および法人が設置する学校ごとの4部門を推進体制として、部門共通の基本理念と3つの方針のもと、各部門で計画の策定、実行、進捗評価を行っています。GL3.0のアクションプラン(AP)と2024年度事業計画の進捗状況を各部門で振り返りました。

GL3.0本文および2024年度事業計画は上智学院ウェブサイトをご覧ください。

【GL3.0】https://www.sophia-sc.jp/disclosure/grand_layout

【事業計画】https://www.sophia-sc.jp/disclosure/operating_plan

GL3.0におけるAPと事業計画の進捗状況(2024年度)

大学部門

1. グローバルな視野とローカルな視点で他者に寄り添い、未来を創るSophianの育成

2023年度から検討を進めてきた単位の実質化と深い学びのための施策について、各所属からの意見収集や学部長会議での議論を重ね、2027年度新カリキュラム、新ポリシーの開始に合わせた具体的な検討を行うフェーズに進めた。また、多様な実践型プログラムの構築は計画どおり進捗しており、初めて国内で実施する実践型プログラムや海外大学との共修プログラムなどの科目化実現に繋がった。SFDP^{*}では多層的な学びの場の提供という趣旨に沿った形で地球市民講座新規開講など新たな取り組みも開始した。高い満足度、評価を得る取り組みを実現することができた一方で、収支状況に課題を抱えており、改善が急務である。今後、教育精神に基づいた上智大学ならではのプログラムの充実に向けさらなる取り組みを行う。

※SFDP (Sophia Future Design Platform)

2. グローバル社会に貢献する世界水準の研究の推進・拠点の確立

研究推進体制の強化を軸に、URA^{*}の増員による研究IRの強化と研究支援機能の充実、国際コンソーシアムを活用した国際的研究交流の促進、博士課程・若手研究者支援の拡充、スタートアップ創出のための環境整備を進めた。また、研究の国際化やオープン化への対応として、研究インテグリティ確保への取り組み、研究データ管理・利活用ポリシーの制定、ICTインフラの改革、学術研究資料の電子化等を推進した。今後は、本学のミッションを踏まえた研究拠点の形成、学外競争的資金獲得のより一層の強化、大学院の活性化等、本学のプレゼンス向上につながる施策を継続して取り進め、本学の持続可能な研究・教育基盤を構築することが課題である。

※URA (University Research Administrator)

3. サステナビリティを高水準で実現するグローバル・ワンキャンパスの確立

地域と連携したボランティア活動支援を行うとともに、課外教育プログラム、国際寮プログラムでは学生主体の企画とすることで学生の満足度が向上している。また、学生相談窓口のアクセス性向上や健康支援、カウンセリングサービス、障がい学生支援、学生相談の連携により、学生サービスとハラスメント防止意識も高まっている。健康支援では、精神科医師の常駐化や留学生支援体制の強化、電子カルテの運用開始、スマホアプリの本格運用準備も進められている。キャリア支援および進路の満足度は高水準にあるが、大学院生や留学生等多様な学生の支援について引き続き強化していく。さらに、経済支援では、複雑化する国の制度に対応するとともに、学内奨学金はメリットベースの拡充を継続する。

4. グローバル社会および多様なステークホルダーとの連携強化

多様なステークホルダーとの連携強化に向けて、同窓会主催のホームカミングデーや後援会における対話型企画への学生職員の参画など、関係構築を図る取り組みを実施した。地域連携においては、大学と学生が協働する課外活動が高く評価され、地域への貢献が認められた。IR・広報機能の強化としては、教育課程・学修成果10指標や各種学生調査(入学時・在学時・卒業時・卒業後)の配布、FDアンケート結果の分析支援を行ったほか、QS Academic Reputation Trackerを導入し、世界大学ランキングに関する得票分析を進めた。社会の課題解決に向けた産官および市民社会との協働の積極的推進については、さらなる取り組みが必要である。

5. 持続的発展を力強く支える組織、財務基盤の確立

教育・研究力向上を目的とした財源を特別に確保し、URA等の専門人材の配置および専任職員の増員、本学の研究力の調査分析や海外大学との新たな連携構築等に重点的に予算を配分し、実行した。今後は、本学の教育・研究戦略に基づき、さらなる教育・研究力向上に向けた施策を展開すべく、教職員の計画的採用を進める予定である。また、教員の旅費や研究費等にかかる諸手続きについて業務分析を行い、重複する事務処理の整理や運営体制のあり方を検討した。その結果、教員の研究時間の確保にも資する新たなワンストップサービスの仕組みを構築し、2025年度からサポートデスクを設置することを決定した。

短大部門

秦野市との連携事業である地域社会の課題解決を目指すサービスラーニング活動において、学生たちは授業で培った多文化理解の理念を反映したレスンプランで活動に工夫を凝らし、市内各校とその児童たちからは高い評価を得ている。

2025年3月に卒業した学生のTOEICスコアは、入学から2年間で100点以上向上した者が昨年度を上回る75.3%にもなった。卒業時に実施したアンケート結果でも、短期大学部での学びによって獲得した英語力についての各質問に8割から9割の学生が肯定的な評価を示した。

また、進路面では、学生によるリアクションペーパーの記入とそれに対するフィードバックを就職・編入学講座で共に実施した結果、学生の満足度が上がり、運営側も学生の理解度や疑問点が明確になり、その後の講座運営に活かすことができた。

前年度に短大単独企画で最少催行人数を満たせずに中止となった海外短期語学講座とスタディツアーは、上智大学との共同企画とすることにより、そのスケールメリットを活かし実現することができた。

なお、外部アンケートで不足していると指摘された学生の読解力、文章力、プレゼンテーション力については、特に必修科目での学びを充実させることによって向上している。

中等教育部門（全体総括）

栄光学園

全体としては、アクションプランに沿って概ね良好に事業を進められた。特に、栄光学園内で取り組む事項については、それぞれの担当部署でほとんどの事業を進めることができた。他方、上智大学を含めた他の部門との連携には課題が多い。現状では既存の業務に追われており、校外との連携のために、これ以上の時間を割くことは難しい。しかし、主に上智大学の多様なリソースを活かす道への模索は継続したい。校内の課題の中では、教職員の働き方についての取り組みに、一定の進展が見られ、学園の働き方の改善の道への糸口が見出されている。

六甲学院

海外研修行事として6年ぶりにインド訪問、高2学年全員のシンガポール研修、ニューヨーク・ワシントンDC研修等を実施した。各行事で姉妹校生徒や六甲卒業生と交流し、民族の多様性と人権、差別と貧困、正義と平和等、世界の課題に直面し考える機会となった。中2は東北研修で被災地を訪問し、生命の尊さや防災について学ぶ機会を持った。全学年の講演会としてウクライナからの上智大学留学生、クリスマスメッセージは卒業生の補佐司教、カンボジアや東北被災地等を取材してきたフォトジャーナリストの話を伺う機会を得た。海外・国内の研修旅行や講演等を通して、グローバル市民として正義を促進しFor Others, With Othersの生き方をめざす人間を育成したい。

広島学院

2024年度は、GL3.0の柱である「ミッションの深化」と「教育の質の向上」に重点を置き、キリスト教的世界観に基づく探究型学習の充実をILプログラムでは特に意識的に取り組んだ。中学段階における哲学対話の恒常的導入や、全校でのイエズス会教育活動に関する研修・報告会の実施は、生徒・教員双方の意識変容を促した。一方、ICTの更なる活用や進学指導の多様化といった面では、課題と展望が残っている。今後もイエズス会の教育理念を基盤とした全人的教育の深化に努める。

上智福岡

GL3.0運用2年目となる今年度は、学期ごとにGL3.0の根底にあるビジョンとそれに由来するアクションプランの周知と教職員全体での事業計画の共有化を徹底し、イエズス会学校そして地域社会に魅力的な学校であり続けるための教育環境整備に努めた。また教職員の健康確保とワークライフバランス改善に向けて昨年度締結した年単位変形労働時間制での36協定の下で新たな働き方を実施し、その中で顕在化した課題については教職員によるプロジェクトチームにおいて協議し次年度に向けた改善を行った。

法人部門

1. 持続可能な社会に貢献し、社会的責任を果たすための体制を強化する

カトリック・イエズス会センター運営委員会の組織改編を行い、人事局と連携した講義や懇話会、海外研修など多様な研修を実施し、イエズス会教育について教職員の理解促進を図った。

ソフィア・アーカイブズにおいて学院の歴史に関する資料の収集・目録化を継続するとともに、展示活動や積極的な資料の公開・提供を行い、地域やステークホルダーとの関係強化に努めた。また、四谷キャンパス周辺で地域活性化イベントを学生主導で実施するなど、法人、大学として近隣企業・住民との連携を深める取り組みを進めた。

ガバナンス強化に関しては、IR分析の活用や法人説明会等を通じて、柔軟かつ迅速な意思決定体制の整備を推進した。私学法改正にともなう関連規程の見直しや理事会の実効性評価を実施したほか、コンプライアンス研修やリスクマネジメント体制の運用を通じ、内部統制の充実を図った。

2. 豊かな学びを支える安心・安全・快適なキャンパス環境を整備する

多様性を尊重するキャンパス環境の実現を目指し、学生職員の発案により整備された「Breeze Lounge」において、利用者の意見を踏まえた継続的な改善を実施した。また、「ソフィア・ダイバーシティ・ウィーク」では、学生と教職員が協働して多様性と共生をテーマにイベントを開催するとともに、中等教育部門4校との連携プログラムを通じて、若年層への意識啓発にも取り組んだ。

施設整備においては、主要キャンパスにおける再生可能エネルギー電力およびカーボンオフセットLNGの導入により、電力および都市ガス使用に伴う温室効果ガスの排出を実質的にゼロとする体制を実現した。加えて、7号館の改修や他の老朽化施設の外壁補修・設備更新等を計画に基づき実施し、持続可能かつ安心・快適なキャンパス環境の整備を多面的に推進している。

3. 教育研究の持続的発展を可能とする財務基盤をより一層強化する

財務基盤の強化として、第3号基本金への組入れ2.5億円を行った。資産運用においては、私立大学として最初にアセットオーナー・プリンシプルを受け入れを表明し、取り組み方針を公表した。また、2025年度予算編成方針において、GL3.0を推進するための特別予算枠について柔軟に対応することとした。その結果、特別予算を1.8億円増額（前年度予算比）することとし、それを含む教育研究経費を6.5億円増とする予算編成を行った。

4. 組織力を高める人事政策を実行する

教職員の評価制度の見直し、処遇改善の実施およびさらなる検討を行った。また、若手研究者を対象としたキャリアパスを検討し、海外での研究や教育歴を積める新たな身分を2025年度から導入する。多様な人材確保においては、ヘルスキーパーを採用し、学内にリフレッシュルームを開設した。インクルーシブな職場環境の実現のみならず、福利厚生の実施にもつなげることができた。引き続き、学院全体の収支を見据えた総額人件費管理に注力し、組織力を高める人事政策を教学組織と連携して検討していく。

全学的トピックス

■ 上智大学新学長に総合人間科学部の杉村美紀教授を選出

学校法人上智学院は、2024年9月30日開催の理事会において、杉村美紀（すぎむら みき）教授（総合人間科学部教育学科）を大学長（2025年4月1日就任）とすることを決定しました。この度の選出は、曄道佳明（てるみち よしあき）教授の学長任期満了に伴うものです。1913年の大学創立以来、本学では初の女性学長の就任となります。

上智学院では、2016年1月に「上智大学長の選任に関する規

則」を改正し、学長選出方法を変更しました。同改正によって、候補者選考委員会委員に加え、教職員も学長候補者を推薦できるようにしました。候補者選考委員会がこれらの被推薦者の中から対象者を絞って面接を実施し、最終的に学長候補者2人を選定。その後、教職員が候補者を評価する「学長候補者に係る調査」が行われ、その結果を理事会が参考にして学長を決定しました。

■ 栄光学園中学高等学校校長に柳下修氏が就任

3期9年にわたり栄光学園中学高等学校の校長を務めた望月伸一郎校長の退任に伴い、栄光学園中学高等学校運営協議会の推薦を受け、2023年6月28日開催の学校法人上智学院理事会において、後任として、柳下修教諭が第7代校長（2024年4月1日付）に選出されました。柳下校長は、1985年に母校である栄光学園中学高等学校へ理科教諭（生物）として入職しました。理

科主任、倫理科主任、教育相談主任、イエズス会中等教育推進委員（JSEC）を経て、2021年から副校長職を務めました。なお、2011年度の1年間、研修としてイエズス会社会司牧センターへ毎週通い、社会正義の実現に向けたイエズス会の活動への理解を深めました。

■ 上智大学1号館が東京都選定歴史的建造物に選定

四谷キャンパスの1号館が、2024年6月14日付で、東京都選定歴史的建造物に選定されました。東京都選定歴史的建造物は、歴史的な価値を有する建造物のうち景観上重要なものとして、東京都景観条例に基づき東京都知事が選定したものです。

選定にあたっては、①原則として建設後50年以上経過している②地域のランドマークとしての役割を果たしているなど東京都の景観づくりにおいて重要③可能な限り建設当時の状態で保存されている④外観が容易に確認できるの4つの基準が設けられています。

1号館は、1932（昭和7）年に竣工。第二次世界大戦中の東京大空襲を免れ、現在に至ります。大正から昭和初期にかけて、日本各地のカトリック教会を設計したスイス人の建築家マックス・ヒンデルが手がけたドイツ風の学校建築で、ヒンデル作品の残存例として貴重であることが評価されました。竣工当時はエレ

ベーターも設置されるなど、最新の設備と重厚な建築で知られた建造物であり、現在まで四谷キャンパスを代表するランドマークとして親しまれています。



■ 私立学校法改正に伴うガバナンス体制の整備・強化

私立学校法の改正（2025年4月1日施行）に伴い、上智学院では、ガバナンス検討ワーキンググループ（座長：引間雅史経営企画担当理事）を中心に、ガバナンス体制の整備・強化を検討し、理事会は2025年度以降の上智学院の運営体制を決定しました。改正にあたっては、カトリックイエズス会によって設立された本学院の建学の理念・教育精神の維持・継承と、第三者の

適切な牽制機能の強化をバランスよく両立することに留意しました。具体的には、理事および評議員の選任機関を新たに設置し、その構成員に学外の理事・有識者を約半数含めたほか、理事および評議員の構成も見直しを行いました。また、内部統制システム基本方針を制定し、方針を実現するために整備が必要な事項、特に監査環境の整備について検討を進めています。

全学的トピックス

ダイバーシティ・サステナビリティ推進室設立／Breeze Loungeオープン

上智学院は2024年7月に「ダイバーシティ推進室」と「サステナビリティ推進本部」を統合し、「ダイバーシティ・サステナビリティ推進室」を設立しました。新組織では、学生職員のアイデアを取り入れることで学職協働を実現するとともに、本学院の中長期計画「グランド・レイアウト3.0」に基づき、ダイバーシティとサステナビリティを全学的に推進し、MAGIS（現状に満足せず更によいものを目指すこと）に寄与する取り組みを強化していきます。

そして、2024年9月、四谷キャンパス2号館4階に「Breeze Lounge」がオープンしました。このラウンジは、大学の理念である「隣人性」と「国際性」を基盤に、SDGsの実現に貢献することを目指して設計されています。本推進室の学生職員が中心となってハード・ソフト両面において検討を進めました。カーボンニュートラル床材やリサイクル素材を使用したカーペット、ペーパーウッドを使用したベンチやテーブルの設置、イスやツールには天然素材やリサイクル素材が使用されています。また、ラ

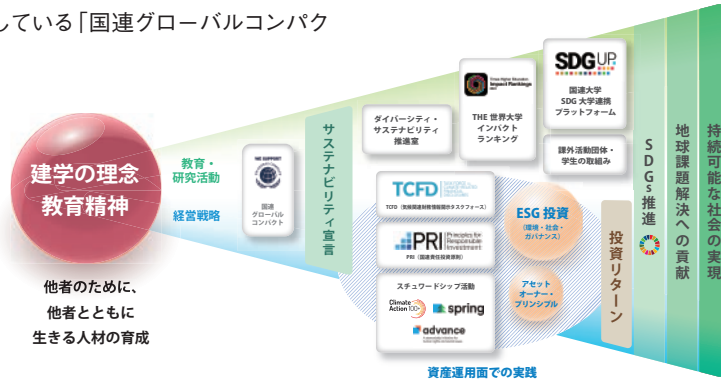
ウンジ内に、誰でも利用可能な、3つの個室完結型トイレを設置。利用者の選択の幅を広げ、多様なニーズに対応しています。Breeze Loungeは、学生、教職員が自然に集い、学び合う場として、持続可能で多様性を尊重する社会の実現に向けた象徴的な空間となっています。



責任投資 (ESG投資) の取り組み

上智学院は建学の理念や教育精神を反映した形で資産運用を実践するために、責任投資（E：環境、S：社会、G：ガバナンス）を考慮した投資）に取り組んでいます。建学の理念や教育精神は、教育・学術研究にとどまらない上智のあらゆる活動の根幹をなすものであり、加盟している「国連グローバルコンパ

ク」や「国連責任投資原則（PRI）」に基づき、社会的リターンと投資リターンの両立を目指し、資産運用を通じて地球規模の環境問題・社会課題の解決に貢献し、持続可能な国際社会造りに繋がるよう取り組んでいます。

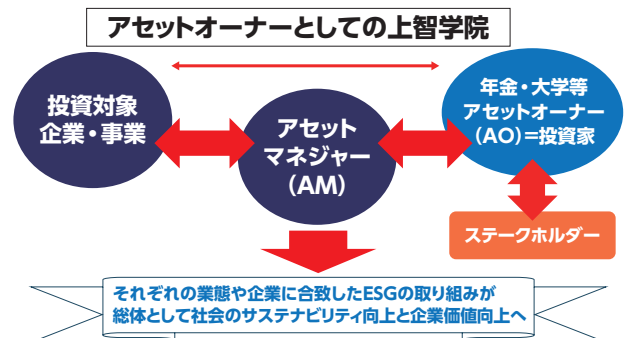


<私大初>「アセットオーナー・プリンシプル」の受入れ表明をしました

内閣官房新しい資本主義実現本部事務局が策定した「アセットオーナー・プリンシプル」に、私立大学で初めて受入れ表明を行い、取組方針を公表しました。アセットオーナー・プリンシプルは、アセットオーナー（資産保有者としての機関投資家）の運用・ガバナンス・リスク管理に係る共通の原則を示したものです。アセットオーナーとしての学院の考え方や取り組みをステークホルダーの方々に理解していただくために、今後も適切な情報発信に努めてまいります。

※詳細は、上智学院公式ウェブページをご覧ください。

<https://www.sophia-sc.jp/disclosure/esg>



■ 上智学院（高等教育部門）の環境負荷の状況

1. エネルギー使用量および温室効果ガス排出量

上智学院の高等教育部門は、主要なキャンパスとして四谷キャンパス、目白聖母キャンパスおよび秦野キャンパスがあります。四谷キャンパスでは、上智大学すべての学部・研究科の学生が教育を受け、研究活動を行っています。目白聖母キャンパスは、上智大学総合人間科学部看護学科の一部学生が使用しており、秦野キャンパスには上智大学短期大学部が設置されています。

2023年度のエネルギー消費量のうち、四谷キャンパスでの使用が94.0%を占めています。(図1) 消費されるエネルギーの種別は、電気が74.5%、都市ガス(LNG^{※1})が25.4%を占めています。燃料(灯油等)は、主に秦野キャンパスの暖房等に使用されていますが、全体に占める割合は極めて低いです。(図2)

施設面において、主要キャンパスが排出する温室効果ガスは、エネルギー使用の他、主に上下水道の使用に伴うもの、廃棄物の処理に伴うものがあります。これらの使用に伴う温室効果ガスの排出量を2023年度の使用、廃棄量から試算^{※2}しました。2023年度に排出した温室効果ガス(二酸化炭素換算量)は、13,615(t-CO2)で、電気の使用に伴う排出量が約73.2%、都市ガス(LNG)の使用に伴う排出量が約22.4%を占めています。(図3)

上智学院では、2020年度から2023年度にかけて主要キャンパスで使用する電気を実質的に再生可能エネルギー100%とする電気に切替えています。また、2021年度に四谷キャンパスおよび目白聖母キャンパスの都市ガスはカーボンオフセットLNG^{※3}に切替え、2024年度からは秦野キャンパスも同様に切り替えたため、都市ガスを使用する全てのキャンパスにおいてカーボンオフセットLNGを導入しています。これにより一部の施設^{※4}を除き、電気および都市ガスの使用に伴う温室効果ガスの排出を実質的に排出量ゼロとすることができ、自主的な取り組みとして13,026(t-CO2)と大幅(約95.7%)に削減できています。

エネルギー使用に伴う二酸化炭素の排出量を大幅に削減していますが、その一方で、2023年度のエネルギー使用量は、前年度の使用量を超えています。また、将来的なエネルギー・環境価値の上昇等により、結果としてエネルギー価格が上昇することも考えられるため、コストの観点からもハード(照明LED化推進等の設備の高効率化)、ソフト(省エネルギー活動の推進)両面による行動変容は必要と考えられます。

上智学院は、年間のエネルギー使用量の合計が「エネルギー使用の合理化等に関する法律」(省エネ法)に定める基準以上であるため、エネルギーの使用の合理化を特に推進する必要がある者として省エネ法に基づき特定事業者^{※1}に指定されており、毎年、使用量、使用量削減に関する計画等を経済産業省(資源エネルギー庁)及び文部科学省に報告しています。

また、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、温室効果ガス排出量を毎年環境省に報告し、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例(環境確保条例)に基づき温室効果ガス排出総量削減義務が課せられています。

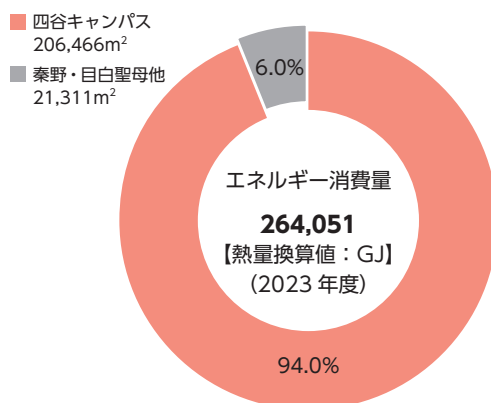


図1

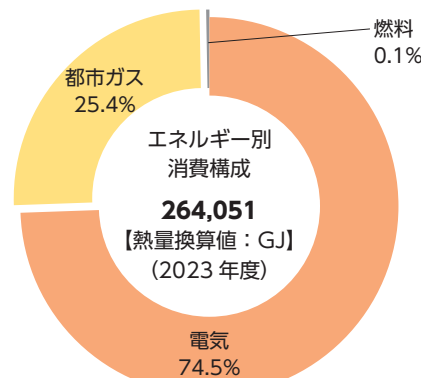


図2

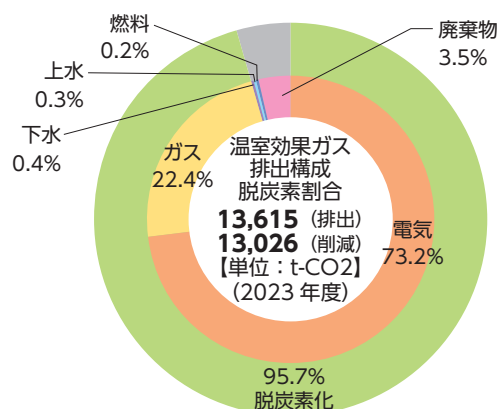


図3

※1 液化天然ガス
 ※2 上下水道の試算は東京都C&T制度における排出係数を準用。廃棄物の試算においては、大部分を占める四谷・目白聖母キャンパスを対象としLCIデータベース IDEA Version 2.3を引用(国立研究開発法人 産業技術総合研究所 安全科学研究部門 IDEAラボ 一般社団法人サステナブル経営推進機構の著作物)
 ※3 ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスをクレジットで相殺し、自主的な取り組みとして実質的に排出量ゼロとするLNG
 ※4 賃借入居分、学生寮等

2. 廃棄物に関わる規制および処理責任

廃棄物の処理は、性状・種類・排出者により分類され、環境汚染防止および資源の有効活用のために様々な法令・条例によって規制されています。

上智学院から排出される産業廃棄物は、収集・運搬・処分について排出者である上智学院が責任をもって処理しなければなりません。このため、上智学院は廃棄物の収集運搬および処分を関係法令に基づく許可を受けた事業者と契約して委託を行っています。

また、産業廃棄物管理票（マニフェスト）情報を電子化したものを利用することによって、「排出事業者」「収集運搬業者」「処分業者」の三者で情報を共有して情報伝達の効率化を行いつつ、廃棄物の種類および量、排出から収集運搬、そして最終処分までの流れを把握しています。

3. 廃棄物の排出量・再利用率

四谷キャンパスでは、コロナ禍以前の状況では年間600トン程度の廃棄物が排出されていましたが、2023年度はおよそ370トンです。なお、2019年度から2023年度の廃棄物排出量の推

移は図4のとおりです。

再利用率については、食品残渣の付着した再利用に適さない紙が引き続き問題となっており、再利用率の低下の主たる原因となっております。一方、不燃物については高水準を維持しております。

4. 3R（リデュース・リユース・リサイクル）の取り組み

上智学院では現在、以下のような取り組みを積極的におこなっております。以下の取り組みのいくつかは学生からの提案によって実現したものもあります。

- ①機密書類溶解処理で出た紙をトイレトーパーに再生し、それを大学で購入する循環システム
- ②ウォーターサーバーの設置によるペットボトル廃棄の削減
- ③ごみの分別が分かりやすいごみ箱の設置
- ④コンピューター機器類のリユース・リサイクル
- ⑤インクカートリッジのリサイクル
- ⑥ペットボトルのキャップ回収とリサイクル

引き続き、教職員・学生が協同してSDGsの12番目の目標である「つくる責任 つかう責任」を意識して3Rに取り組んでいきたいと考えております。

表1 適用される主な法令等

区分	適用される主な法令等
固体状の廃棄物	●廃棄物の処理と清掃に関する法律（廃棄物処理法） ●循環型社会形成推進基本法 ●資源有効利用促進法 ●家電リサイクル法 ●小型家電リサイクル法 等 ●ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法
液体状の廃棄物（排水を含む）	●廃棄物の処理と清掃に関する法律（廃棄物処理法） ●水質汚濁防止法 ●下水道法
気体状の廃棄物	●大気汚染防止法 ●地球温暖化対策推進法 ●フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律
その他	●土壌汚染対策法

廃棄物排出量の推移

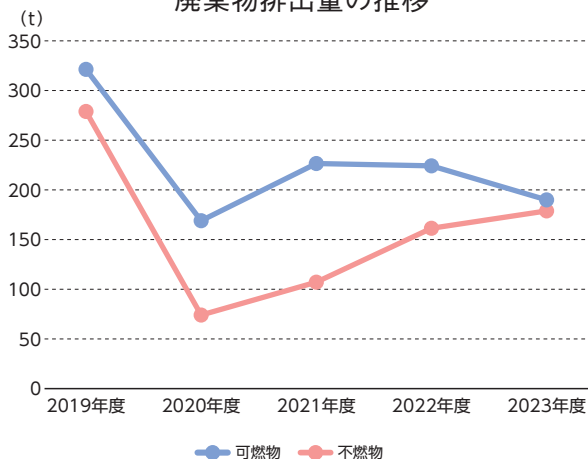


図4

廃棄物再利用率の推移

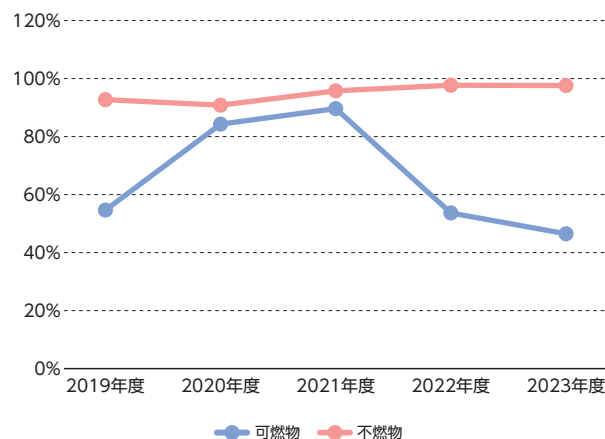


図5

施設等の状況

(2025年3月31日現在)

所在地	施設等	面積等	摘要	
四谷キャンパス 東京都千代田区紀尾井町 東京都千代田区麴町	校地 カトリックイエズス会 校舎（教室、実験室、研究室、講堂等） 図書館（図書館、研究室等） 体育館 課外活動施設 エネルギー・ステーション	18棟 1棟 1棟 1棟 3棟	46,918.14㎡ 4,260.00㎡ 146,573.65㎡ 26,871.03㎡ 4,453.53㎡ 4,114.74㎡ 3,304.38㎡	大学が利用
四谷キャンパス 東京都千代田区紀尾井町 東京都千代田区麴町 東京都港区赤坂 東京都新宿区四谷	運動場		23,972.87㎡	大学が利用
石神井キャンパス 東京都練馬区上石神井	校舎敷地 図書館	1棟	1,600.80㎡ 1,369.86㎡	大学が利用
秦野キャンパス 神奈川県秦野市	校地 運動場 校舎（教室、実験室） 研究棟（図書館、研究室） 体育館 食堂棟（食堂、研究室） 管理棟（事務室） 学生寮 セミナーハウス（教室、宿舎） 合宿所	1棟 1棟 1棟 1棟 1棟 1棟 1棟 1棟	259,601.91㎡ 2,183.38㎡ 3,292.27㎡ 2,463.38㎡ 1,003.51㎡ 1,606.73㎡ 1,260.96㎡ 2,751.55㎡ 1,583.92㎡ 925.70㎡	大学と短期大学部が利用 短期大学部が利用 大学が利用
大阪サテライトキャンパス 大阪府大阪市北区豊崎	校舎	1棟	89.60㎡	大学が利用
目白聖母キャンパス 東京都新宿区下落合	校地 校舎（1号館） 校舎（2号館）	1棟 1棟	4,523.73㎡ 5,789.04㎡ 2,204.50㎡	大学が利用
祖師谷国際交流会館 東京都世田谷区上祖師谷	用地 学生寮	5棟	13,441.00㎡ 14,016.49㎡	大学が利用
アルベ国際学生寮 東京都新宿区信濃町	用地 学生寮	1棟	1,242.45㎡ 4,955.73㎡	大学が利用
枝川寮 東京都江東区枝川	用地 男子学生寮	1棟	1,003.39㎡ 2,530.22㎡	大学が利用

上智大学

上智大学・上智大学大学院では教育研究上の目的、人材養成の目的、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）およびアドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）を学部・学科ならびに研究科・専攻ごとに大学ウェブサイトで公表しています。
<https://www.sophia.ac.jp>

教職員数等

教職員数

(2024年5月1日現在)

学校区分	教職員区分	本務	兼務	総計
上智大学	教員	545	883	1,428
	職員	423	2	425
総計		968	885	1,853

※本務教員：専任教員・特別契約教授・特任教員・常勤嘱託教員・実務家教員・出向教員
 兼務教員：非常勤嘱託教員
 本務職員：専任職員・特別契約職員・嘱託職員
 兼務職員：嘱託職員（医師等）
 ※管理部門所属職員は上智大学に算入

年齢別教員数

(2024年5月1日現在)

学校区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	総計
上智大学	5	58	154	212	116	0	545

※非常勤講師を除く
 ※平均年齢51.32（非常勤講師を除く）

職階別教員数

(2024年5月1日現在)

学校区分	教授	准教授	講師	助教	助手	教員	総計
上智大学	319	122	32	58	14	0	545

※非常勤講師を除く

教員一人当たり学生数

(2024年5月1日現在)

学部	学生数	本務教員数	
		教員数	一人当たり学生数
神学部	207	16	12.94
文学部	2,286	62	36.87
総合人間科学部	1,347	72	18.71
法学部	1,410	29	48.62
経済学部	1,450	35	41.43
外国語学部	2,258	63	35.84
総合グローバル学部	1,004	26	38.62
国際教養学部	770	36	21.39
理工学部	1,620	92	17.61
総計	12,352	431	28.66

学生数

学部

(2024年5月1日現在)

学部	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	学生数	収容定員充足率
神学部	50	196	51	51	48	57 (12)	207	105.6%
文学部	510	2,040	530	527	530	699 (177)	2,286	112.1%
総合人間科学部	305	1,220	311	313	319	404 (87)	1,347	110.4%
法学部	330	1,320	336	336	337	401 (78)	1,410	106.8%
経済学部	330	1,320	339	337	340	434 (106)	1,450	109.8%
外国語学部	500	2,000	518	516	510	714 (207)	2,258	112.9%
総合グローバル学部	220	880	223	231	226	324 (92)	1,004	114.1%
国際教養学部	186	744	190	172	195	213 (39)	770	103.5%
理工学部	410	1,580	413	405	387	415 (38)	1,620	102.5%
合計	2,841	11,300	2,911	2,888	2,892	3,661 (836)	12,352	109.3%

※4年次生の欄()内は在学継続者数で内数である。
 ※同一年次数=前年9月入学者数+当該年度4月入学者数である。

大学院

(2024年5月1日現在)

研究科	博士前期課程/修士課程/専門職学位課程				博士後期課程				総計
	入学定員	収容定員	学生数	収容定員充足率	入学定員	収容定員	学生数	収容定員充足率	
神学研究科	20	40	13	32.5%	4	12	5	41.7%	18
文学研究科	86	172	90	52.3%	24	72	42	58.3%	132
実践宗教学研究科	10	20	25	125.0%	3	9	18	200.0%	43
総合人間科学研究科	59	118	92	78.0%	16	48	67	139.6%	159
法学研究科 法学専攻 法曹養成専攻	20	40	13	32.5%	4	12	3	25.0%	16
	40	120	68	64.8%	-	-	-	-	68
経済学研究科	30	60	42	70.0%	4	12	8	66.7%	50
言語科学研究科	33	66	58	87.9%	5	15	36	240.0%	94
グローバル・スタディーズ研究科	70	140	147	105.0%	14	42	27	64.3%	174
理工学研究科	250 【50】	500 【50】	422	105.5%	20	60	54	90.0%	476
地球環境学研究科	60	120	180	150.0%	10	30	45	150.0%	225
応用データサイエンス学位プログラム	【50】	【100】	113	113.0%	-	-	-	-	113
合計	678	1,396	1,263	91.5%	104	312	305	97.8%	1,568

※法科大学院の定員は、文部科学省告示により入学定員の3倍であるため、各年度の入学定員から算出し、収容定員は120(40+40+40=120)とする。
 定員充足率の算出においては、2、3年制の各入学定員に各標準修業年限を乗じた数{(25×3)+(15×2)=105}を基礎とする。
 ※総合人間科学研究科看護学専攻、グローバル・スタディーズ研究科国際協力学専攻、応用データサイエンス学位プログラムは修士課程のみ設置。
 ※応用データサイエンス学位プログラムの入学定員及び収容定員は、研究科等連係基本実施組織として連係及び協力する理工学研究科の定員を活用している。

助産学専攻科

(2024年5月1日現在)

専攻科	入学定員	収容定員	1年次	学生数	収容定員充足率
助産学専攻科	10	10	9	9	90.0%

社会人学生数

(2024年5月1日現在)

研究科	博士前期課程	博士後期課程	総計
神学研究科	5	2	7
文学研究科	14	16	30
実践宗教学研究科	15	16	31
総合人間科学研究科	32	31	63
法学研究科 法学専攻 法曹養成専攻※	3	1	4
経済学研究科	6	4	10
言語科学研究科	31	28	59
グローバル・スタディーズ研究科	64	17	81
理工学研究科	13	14	27
地球環境学研究科	53	18	71
応用データサイエンス学位プログラム	68	-	68
合計	323	147	470

※法曹養成専攻は「専門職学位課程」

外国人学生数

国・地域	身分					総計
	学部生	大学院生	交換留学生	インディグリース	その他※	
中華人民共和国	262	403	19	33	54	771
大韓民国	147	16	19	2		184
インドネシア共和国	19	10	2	15	1	47
ベトナム社会主義共和国	23	10	2			35
台湾	12	14	6	2		34
フィリピン共和国	18	9	4		1	32
インド共和国	9	9				18
タイ王国	8	5	4	1		18
ミャンマー連邦共和国	4	12				16
バングラデシュ人民共和国	4	4	1			9
ネパール	5					5
東ティモール民主共和国	4	1				5
シンガポール共和国	4	1				5
モンゴル国	3	2				5
マレーシア	3	1				4
ブルネイ・ダルサラーム国		2	2			4
スリランカ民主社会主義共和国	1	2				3
パキスタン・イスラム共和国	1	1			1	3
ブータン王国		1				1
北朝鮮	1					1
ラオス人民民主共和国		1				1
小計	528	504	59	53	57	1,201
ドイツ連邦共和国	2	7	54	3		66
フランス共和国	2	5	46	1	1	55
英国	2	5	18	1		26
イタリア共和国	4	1	14		3	22
スペイン王国		1	13			14
ロシア連邦	3	2	8			13
スイス連邦		1	9			10
スウェーデン王国			10			10
ウクライナ	7	1	1			9
オランダ王国	1	1	7			9
ポルトガル共和国	1		6			7
カザフスタン共和国	1		5	1		7
ポーランド共和国		3	2			5
フィンランド共和国		2	2			4
ベルギー王国		1	3			4
ノルウェー王国		1	3			4
ルクセンブルク大公国	1	1	1			3
リトアニア共和国		1	2			3
オーストリア共和国			2			2
ルーマニア		1	1			2
アゼルバイジャン共和国		1			1	2
アルメニア共和国	1					1
スロバキア共和国		1				1
ジョージア(旧グルジア共和国)	1					1
ボスニア・ヘルツェゴビナ					1	1
チェコ共和国			1			1
トルクメニスタン		1				1
キルギス共和国		1				1
モンテネグロ		1				1
デンマーク王国			1			1
小計	26	39	209	6	6	286

(2024年10月1日現在)

国・地域	身分					総計
	学部生	大学院生	交換留学生	インディグリース	その他※	
イラン・イスラム共和国	2	1			1	4
トルコ共和国		2				2
シリア・アラブ共和国	1				1	2
ヨルダン		2				2
イスラエル国		1				1
アラブ首長国連邦		1				1
サウジアラビア王国		1				1
小計	3	8	0	0	2	13
カメルーン共和国	2	6				8
ナイジェリア連邦共和国		6				6
ガーナ共和国		1			2	3
スーダン共和国	2					2
南アフリカ共和国	1		1			2
タンザニア連合共和国		2				2
コートジボワール共和国		1				1
ジンバブエ共和国		1				1
コンゴ民主共和国		1				1
セネガル共和国			1			1
エチオピア連邦民主共和国		1				1
エジプト・アラブ共和国	1					1
ウガンダ共和国		1				1
アンゴラ共和国		1				1
マリウイ共和国		1				1
ギニアビサウ共和国		1				1
アルジェリア民主人民共和国		1				1
ケニア共和国		1				1
小計	6	25	2	0	2	35
アメリカ合衆国	47	37	62	30	1	177
カナダ	3	5	9			17
小計	50	42	71	30	1	194
メキシコ合衆国	2	4	12		1	19
ブラジル連邦共和国	5	1	5			11
ペルー共和国	1	3	2			6
パラグアイ共和国	3					3
チリ共和国			2			2
コロンビア共和国		1	1			2
バルバドス		2				2
アンティグア・バーブーダ	1					1
ジャマイカ		1				1
ベネズエラ・ボリバル共和国		1				1
ウルグアイ東方共和国		1				1
小計	12	14	22	0	1	49
オーストラリア連邦	1	3	18		1	23
ミクロネシア連邦	3	2				5
フィジー共和国		1				1
ニュージーランド	1					1
パラオ共和国	1					1
小計	6	6	18	0	1	31
総計	631	638	381	89	70	1,809

※「その他」の身分は、研究生、外国人特別研究生、科目等履修生、委託聴講生の合計。

2024年度実施入試（2025年度入学）

学部

学部	入試区分 入学定員	一般選抜 (学部学科試験・ 共通テスト併用方式)				一般選抜 (TEAPスコア利用方式)				一般選抜 (共通テスト利用方式 4教科型)				一般選抜 (共通テスト利用方式 3教科型)				一般選抜入試合計			
		募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数
神学部	50	12	32	12	12	8	25	8	5	2	16	2	2	2	46	4	1	24	119	26	20
文学部	510	187	2,005	604	173	119	1,043	327	45	18	639	282	16	15	1,290	355	37	339	4,977	1,568	271
総合人間科学部	305	112	1,455	284	90	80	558	133	32	13	519	175	12	12	514	103	12	217	3,046	695	146
法学部	330	137	1,664	382	88	91	730	183	23	11	461	187	10	6	666	171	11	245	3,521	923	132
経済学部	330	170	3,275	835	152	65	580	187	43	19	815	301	15	7	737	167	10	261	5,407	1,490	220
外国語学部	500	162	2,109	724	159	124	1,400	391	56	13	358	145	6	13	1,050	256	21	312	4,917	1,516	242
総合グローバル学部	220	70	841	249	62	65	505	123	21	2	167	51	1	3	364	77	4	140	1,877	500	88
国際教養学部	186	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
理工学部	410	134	2,847	914	145	64	421	195	50	9	755	291	6	8	1,209	341	6	215	5,232	1,741	207
合計	2,841	984	14,228	4,004	881	616	5,262	1,547	275	87	3,730	1,434	68	66	5,876	1,474	102	1,753	29,096	8,459	1,326

※一般入試合格者には、補欠入学許可者を含む

学部	入試区分	推薦入試（指定校）				推薦入試（公募制）				カトリック高等学校 対象特別入試※			海外就学経験者 入試			神学部推薦入試			外国人入試		
		募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数
神学部		8	5	5	5	8	27	13	13	24	14	14	0	0	0	0	0	0	1	1	1
文学部		52	61	61	61	109	255	92	92	94	49	49	77	26	17	—	—	—	46	7	6
総合人間科学部		24	17	17	17	64	214	76	76	91	33	33	89	19	8	—	—	—	110	7	6
法学部		32	45	45	45	53	165	67	67	123	60	60	64	19	15	—	—	—	31	6	5
経済学部		18	15	15	15	51	153	44	44	78	28	28	81	14	8	—	—	—	118	10	5
外国語学部		60	56	56	56	128	205	128	127	76	50	50	81	36	21	—	—	—	7	2	2
総合グローバル学部		20	22	22	22	60	151	57	57	46	28	28	48	7	4	—	—	—	19	3	2
国際教養学部		5	4	4	4	30	69	30	30	8	4	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
理工学部		153	152	152	152	28	55	12	12	11	9	9	58	13	5	—	—	—	45	23	7
合計		372	377	377	377	531	1,294	519	518	551	275	275	498	134	78	0	0	0	377	59	34

※カトリック高等学校対象特別入試の志願者数は、併願を含む。実質志願者数は327人。

学部	入試区分	教育提携校特別 推薦入試※			エイズ会高校 特別推薦入学			海外指定校入試 (春入学)			社会人入試			国際バカロレア 入試（第1期）			国際バカロレア 入試（第2期）			難民高等教育 プログラム		
		志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数
神学部		1	1	1	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0	0	0	—	—	—	0	0	0
文学部		11	11	11	1	1	1	0	0	0	—	—	—	0	0	0	1	1	1	0	0	0
総合人間科学部		8	8	8	2	2	2	0	0	0	0	0	0	3	2	1	3	0	0	0	0	0
法学部		7	7	7	2	2	2	0	0	0	—	—	—	5	4	0	7	4	2	0	0	0
経済学部		8	8	8	1	1	1	0	0	0	—	—	—	9	3	0	10	3	1	0	0	0
外国語学部		8	8	8	0	0	0	0	0	0	—	—	—	1	0	0	2	2	2	0	0	0
総合グローバル学部		4	4	4	1	1	1	0	0	0	—	—	—	2	1	0	8	3	2	1	1	1
国際教養学部		1	1	1	1	1	1	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0	0
理工学部		4	4	4	0	0	0	1	0	0	—	—	—	5	5	2	6	4	3	—	—	—
合計		52	52	52	8	8	8	1	0	0	0	0	0	25	15	3	37	17	11	1	1	1

※教育提携校特別推薦入試には、上海日本人学校高等部特別推薦入試を含む。

高等教育部門—上智大学

◇国際教養学部（書類選考） 1年次入試

	志願者数	合格者数	入学者数
2024年度秋学期入学・第1期	332	184	50
2024年度秋学期入学・第2期	198	60	29
2025年度春学期入学・第1期	342	172	60
2025年度春学期入学・第2期	109	11	5
合計	981	427	144

※合格者数には補欠入学許可者を含む

◇SPSF（2024年度秋学期入学）

学 科	第1期			第2期		
	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数
新聞学科	16	12	3	12	9	4
教育学科	17	15	5	13	6	2
社会学科	31	11	1	16	11	1
経済学科	61	41	2	45	22	5
経営学科	67	36	5	52	9	2
総合グローバル学科	47	31	4	37	13	7
合計	239	146	20	175	70	21

◇理工学部英語コース（2024年度秋学期入学）

	第1期			第2期		
	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数
グリーンサイエンス	32	19	4	15	5	1
グリーンエンジニアリング	49	20	4	36	11	5
合計	81	39	8	51	16	6

◇海外指定校（2024年度秋学期入学）

学 部	志願者数	合格者数	入学者数
国際教養学部	0	0	0
理工学部グリーンサイエンス	2	2	2
理工学部グリーンエンジニアリング	2	2	2
SPSF 新聞学科	0	0	0
SPSF 教育学科	0	0	0
SPSF 社会学科	0	0	0
SPSF 経済学科	0	0	0
SPSF 経営学科	2	2	2
SPSF 総合グローバル学科	3	3	3
合計	9	9	9

学部 編入学試験

入試区分	編入学試験※			上智大学短期大学部 特別編入学試験（A方式）			上智大学短期大学部 特別編入学試験（B方式）			神学部推薦入学編入		
	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数
神学部	8	5	5	0	0	0	0	0	0	1	1	1
文学部	35	5	4	2	2	2	6	1	1	—	—	—
総合人間科学部	22	1	1	3	3	3	6	1	1	—	—	—
法学部	6	3	3	1	1	1	0	0	0	—	—	—
経済学部	15	2	2	1	1	1	0	0	0	—	—	—
外国語学部	4	1	1	1	1	1	1	1	1	—	—	—
総合グローバル学部	9	0	0	2	2	2	1	0	0	—	—	—
国際教養学部	—	—	—	0	0	0	—	—	—	—	—	—
理工学部	13	4	3	0	0	0	0	0	0	—	—	—
合計	112	21	19	10	10	10	14	3	3	1	1	1

※2月編入学試験（神学部のみ）含む

◇国際教養学部 3年次編入学試験

	志願者数	合格者数	入学者数
2024年度秋学期入学	14	5	5
2025年度春学期入学	13	2	2

◇理工学部英語コース 3年次編入学試験（2024年度秋学期入学）

	志願者数	合格者数	入学者数
理工学部グリーンサイエンス	0	0	0
理工学部グリーンエンジニアリング	3	2	2
合計	3	2	2

大学院

研究科	博士前期課程／修士課程				博士後期課程			
	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
神学研究科	20	6	5	5	4	0	0	0
文学研究科	86	111	45	34	24	9	6	6
実践宗教学研究科	10	27	11	10	3	6	3	3
総合人間科学研究科	59	146	44	43	16	16	10	10
法学研究科（法律学専攻）	20	37	10	10	4	2	1	1
経済学研究科	30	253	45	25	4	2	2	1
言語科学研究科	33	67	36	30	5	10	7	6
グローバル・スタディーズ研究科	※70	229	68	50	※14	9	5	5
理工学研究科	※200	332	200	191	※20	13	12	10
地球環境学研究科	※60	157	75	51	※10	6	4	3
応用データサイエンス学位プログラム	50	119	72	61	—	—	—	—
合計	638	1,484	611	510	104	73	50	45

※入学定員には秋学期分も含む。2024年度秋学期入学状況は別掲。

◇法学研究科法曹養成専攻（法科大学院）

	定員	志願者数	合格者数	入学者数
2年制コース (8月・9月・1月・合計)	20	97	13	8
3年制コース (8月・9月・1月・合計)	20	135	24	18
学部3年次生特別選抜	若干名	3	1	0
法曹コース(5年一貫型)	(8)**	7	6	6
法曹コース(開放型)	(2)**	3	2	2
合計	40	245	46	34

**法曹コース（5年一貫型）および法曹コース（開放型）の定員は2年制コースの定員に含む

2024年度秋学期入学

研究科	博士前期課程			博士後期課程		
	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数
グローバル・スタディーズ研究科	157	31	16	8	1	1
理工学研究科	29	22	16	8	7	7
地球環境学研究科	125	55	37	8	5	4
合計	311	108	69	24	13	12

助産学専攻科

	定員	志願者数	合格者数	入学者数
助産学専攻科	10	64	11	10

※合格者には、補欠入学許可者を含む

卒業・修了者数等

卒業・修了者数

◇学部

学部	卒業者数	備考
神学部	42	
文学部	528	
総合人間科学部	329	
法学部	321	早期卒業者9名
経済学部	321	早期卒業者6名
外国語学部	467	
総合グローバル学部	219	
国際教養学部	167	早期卒業者2名
理工学部	356	早期卒業者1名
合計	2,750	

◇大学院 博士号授与者数

研究科	課程博士	論文博士
神学研究科	0	0
文学研究科	4	1
実践宗教学研究科	2	0
総合人間科学研究科	4	0
法学研究科	0	0
経済学研究科	0	1
言語科学研究科	5	0
グローバル・スタディーズ研究科	5	0
理工学研究科	8	1
地球環境学研究科	4	0
合計	32	3

◇専攻科

専攻科	修了者数	備考
助産学専攻科	9	

◇大学院

研究科	博士前期課程、修士課程、 専門職学位課程（法科大学院）、 修了者数	博士後期課程 修了者数	備考
神学研究科	2	0	博士前期課程 早期修了1名
文学研究科	37	4	
実践宗教学研究科	9	2	
総合人間科学研究科	38	3	
法学研究科			
法律学専攻	5	0	
法曹養成専攻（法科大学院）	13	—	3月15日修了者6名
経済学研究科	20	0	
言語科学研究科	19	4	
グローバル・スタディーズ研究科	65	5	博士前期課程 早期修了4名
理工学研究科	187	8	博士後期課程 早期修了1名
地球環境学研究科	59	4	博士前期課程 早期修了1名
応用データサイエンス学位プログラム	52	—	
合計	506	30	

退学者数

◇学部

学部	退学者数
神学部	2
文学部	12
総合人間科学部	4
法学部	14
経済学部	20
外国語学部	22
総合グローバル学部	5
国際教養学部	17
理工学部	11
合計	107

◇専攻科

専攻科	退学者数
助産学専攻科	0
合計	0

◇大学院（博士後期課程は満期退学も含む）

研究科	博士前期課程・修士課程・ 専門職学位課程（法科大学院）	博士後期課程
神学研究科	0	1
文学研究科	0	7
実践宗教学研究科	1	0
総合人間科学研究科	0	6
法学研究科		
法律学専攻	0	0
法曹養成専攻（法科大学院）	5	—
経済学研究科	0	1
言語科学研究科	1	3
グローバル・スタディーズ研究科	2	1
理工学研究科	4	4
地球環境学研究科	4	3
応用データサイエンス学位プログラム	0	—
合計	17	26

※退学者数は、2025年5月1日現在決裁済みのものに限る

■ 中退率（学部）・・・3.11%

※2021年4月1日学部入学者のうち、2025年3月までに退学した学生の割合。但し、編入学・再入学を除く。

進路

■ 2024年度 学部卒業者・大学院修了者の進路

(人)

設置・学部	進路区分	就職	進学	その他*	未届者	合計
学部		2,095	369	192	94	2,750
神学部		30	4	8	0	42
文学部		435	43	30	20	528
総合人間科学部		254	39	23	13	329
法学部		253	37	20	11	321
経済学部		271	18	23	9	321
外国語学部		399	29	24	15	467
総合グローバル学部		169	15	20	15	219
国際教養学部		111	11	36	9	167
理工学部		173	173	8	2	356
大学院（法科大学院を除く）		370	40	89	42	541
合計		2,465	409	281	136	3,291

※「その他」は、アルバイト、海外渡航、資格試験勉強、就職活動中（公務員試験勉強中）等を含む。

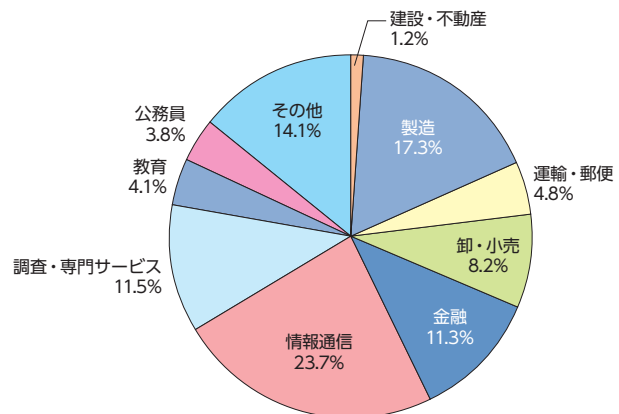
就職

■ 業種別進路状況

◇全体（学部・大学院）*

業種	計	%
建設・不動産	28	1.2%
製造	419	17.3%
運輸・郵便	116	4.8%
卸・小売	197	8.2%
金融	274	11.3%
情報通信	573	23.7%
調査・専門サービス	278	11.5%
教育	98	4.1%
公務員	92	3.8%
その他	342	14.1%
合計	2,417	100.0%

※法科大学院、応用データサイエンス学位プログラムを除く



進路先上位企業一覧

◇全体（学部・大学院）※

（内定者5名以上の就職先）

順位	企業名	総計	順位	企業名	総計	順位	企業名	総計
1	楽天グループ株式会社	29	30	横浜市（公務員）	9	57	日本ロレアル株式会社	6
2	アクセント株式会社	27	33	アマゾンジャパン株式会社	8		株式会社野村総合研究所	6
3	株式会社NTTデータ	26		ANAエアポートサービス株式会社	8		株式会社博報堂／博報堂DYメディアパートナーズ	6
4	全日本空輸株式会社	23		SCSK株式会社	8		株式会社フジテレビジョン	6
5	株式会社NTTドコモ	20		ソフトバンク株式会社	8	68	株式会社エイチ・アイ・エス	5
	株式会社JTB	20		ダイキン工業株式会社	8		SBI新生銀行グループ	5
7	株式会社みずほフィナンシャルグループ	19		日本放送協会	8		エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社	5
8	日本アイ・ビー・エム株式会社	18		みずほ証券株式会社	8		株式会社オープンハウスグループ	5
	株式会社日立製作所	18		三井住友海上火災保険株式会社	8		外務省	5
	三菱電機株式会社	18		株式会社三井住友銀行	8		神奈川県（公務員）	5
11	日本航空株式会社	17		株式会社読売新聞東京本社	8		KDDI株式会社	5
12	PwCコンサルティング合同会社／PwCアドバイザリー合同会社	15		株式会社レイヤーズ・コンサルティング	8		サントリーホールディングス株式会社	5
13	学校法人上智学院	14	44	アンダーソン・毛利・友常法律事務所	7		第一生命保険株式会社	5
	株式会社ファーストリテイリング	14		SMBC日興証券株式会社	7		大和ハウス工業株式会社	5
	富士通株式会社	14		オリックス株式会社	7		株式会社千葉銀行	5
16	東京都（公務員）	12		キンドリルジャパン株式会社	7		株式会社DYM	5
	株式会社ニトリ	12		自衛隊	7		デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザリー合同会社	5
	日本タタ・コンサルタンシー・サービス株式会社	12		大和証券グループ	7		株式会社電通	5
	株式会社ベイクレント	12		東京電力ホールディングス株式会社	7		株式会社日本経済新聞社	5
	本田技研工業株式会社	12		日本銀行	7		農林中央金庫	5
	株式会社三菱UFJ銀行	12		株式会社日本総合研究所	7		パーソルキャリア株式会社	5
22	株式会社サイバーエージェント	11		阪和興業株式会社	7		東日本電信電話株式会社	5
	双日株式会社	11		三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	7		富士フイルムビジネスソリューション株式会社	5
	三菱重工業株式会社	11		りそなグループ	7		防衛省	5
	三菱UFJ信託銀行株式会社	11	57	レバレジーズ株式会社	7		みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社	5
26	東京海上日動火災保険株式会社	10		EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社	6		三井物産株式会社	5
	国立大学法人東京大学医学部附属病院	10		伊藤忠テクノソリューションズ株式会社	6		三井不動産株式会社	5
	日産自動車株式会社	10		国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	6		三菱商事株式会社	5
	日本電気株式会社	10		株式会社ジェシービー	6		株式会社USEN-NEXT HOLDINGS	5
30	アビコムコンサルティング株式会社	9		株式会社日本政策投資銀行	6		株式会社リクルート	5
	日本通運株式会社	9		日本生命保険相互会社	6			

※法科大学院、応用データサイエンス学位プログラムを除く

国家試験・資格等

国家公務員等試験合格状況（2025年3月31日現在）

年度	2024年度		
	上智大学		試験全体 合格数（人）
	全合格者数	うち既卒者数	
国家総合職（大卒）	10	0	1,752
国家総合職（院卒）	3	0	668
国家一般職	32	13	7,557
外務省専門職員	7	*	61
国税専門官	9	1	3,358
労働基準監督官	2	0	431
裁判所事務官一般職	13	*	1,979
家庭裁判所調査官補（院卒）	1	*	19
防衛省専門職員	11	1	128
自衛隊幹部候補	2	1	205
参議院事務局総合職	1	1	19
航空管制官	3	0	135
司法試験	12	5	1,592
公認会計士	9	7	1,603
看護師	65	1	56,906
保健師	18	1	7,196
助産師	9	0	2,027
社会福祉士	31	11	10,742

*は非公開につき不明 資料提供：人事院他

教育職員免許状取得者数（2025年3月31日現在）

免許教科	中学校教諭		高等学校教諭		養護教諭	合計
	一種 免許状	専修 免許状	一種 免許状	専修 免許状	一種 免許状	
国語	15	2	15	2	—	34
社会	44	3	—	—	—	47
地理歴史	—	—	32	3	—	35
公民	—	—	37	2	—	39
数学	4	1	4	1	—	10
理科	3	1	5	1	—	10
情報	—	—	1	0	—	1
外国語（英語）	33	5	32	5	—	75
外国語（ドイツ語）	1	0	1	0	—	2
外国語（フランス語）	1	0	1	0	—	2
外国語（ロシア語）	—	0	2	0	—	2
外国語（ポルトガル語）	—	0	1	0	—	1
宗教	6	0	8	0	—	14
養護	—	—	—	—	5	5
合計	107	12	139	14	5	277

※数字は延べ人数 一括申請受付分 ーは課程認定なし

学芸員課程修了者 33人

国際交流

交換留学協定校数・学術交流協定校数、派遣／受入交換留学生数

(2025年3月31日現在)

国・地域	国・地域 (アルファベット 略称)	交換留学・ 学術交流 協定校数	2024年度派遣 交換留学生数 (上智→海外)	2024年度受入 交換留学生数 (海外→上智)
インド共和国	India	15 (14)		
インドネシア共和国	Indonesia	8 (2)	5	1
カンボジア王国	Cambodia	2 (1)		2
シンガポール共和国	Singapore	2		5
タイ王国	Thailand	10 (5)	2	7
大韓民国	S.Korea	9	12	25
台湾	Taiwan	3	3	6
中華人民共和国(香港含む)	China	28 (6)	6	32
フィリピン共和国	Philippines	3	2	9
ブルネイ・ダルサラーム国	Brunei	1		4
ベトナム社会主義共和国	Vietnam	2 (1)		2
マレーシア	Malaysia	4 (1)	2	
モンゴル国	Mongolia	1 (1)		
ラオス人民民主共和国	Laos	1 (1)		
イスラエル国	Israel	1 (1)		
イラク共和国	Iraq	1 (1)		
トルコ共和国	Turkey	1		
レバノン共和国	Lebanon	1		
アイスランド	Iceland	1		
アイルランド	Ireland	1		
イタリア共和国	Italy	9 (1)	8	14
ウクライナ	Ukraine	1 (1)		
ウズベキスタン共和国	Uzbekistan	1		
英国	U.K.	16 (1)	26	24
エストニア共和国	Estonia	1		
オーストリア共和国	Austria	1	4	8
オランダ王国	Netherlands	4 (1)	3	15
カザフスタン共和国	Kazakhstan	1	1	2
北マケドニア共和国	North Macedonia	1 (1)		
キプロス共和国	Cyprus	1		
クロアチア共和国	Croatia	2	2	
コソボ共和国	Kosovo	1 (1)		
スイス連邦	Switzerland	5	5	13
スウェーデン王国	Sweden	5	14	10
スペイン王国	Spain	17	21	18
スロベニア共和国	Slovenia	1	1	
セルビア共和国	Serbia	1 (1)		
チェコ共和国	Czech	2	2	3
デンマーク王国	Denmark	1	2	3
ドイツ連邦共和国	Germany	29	49	66
ノルウェー王国	Norway	2	5	9
ハンガリー	Hungary	2		
フィンランド共和国	Finland	3	2	4
フランス共和国	France	26 (2)	53	69

国・地域	国・地域 (アルファベット 略称)	交換留学・ 学術交流 協定校数	2024年度派遣 交換留学生数 (上智→海外)	2024年度受入 交換留学生数 (海外→上智)
ベラルーシ共和国	Belarus	2		
ベルギー王国	Belgium	3	2	7
ポーランド共和国	Poland	2	2	
ボスニア・ヘルツェゴビナ	Bosnia-Herzegovina	1 (1)		
ポルトガル共和国	Portugal	5	6	7
リトアニア共和国	Lithuania	2		5
リヒテンシュタイン公国	Liechtenstein	1		2
ルーマニア	Romania	1		
ルクセンブルク大公国	Luxembourg	1	3	2
ロシア連邦	Russia	11		8
アメリカ合衆国	U.S.A.	77 (2)	97	199
カナダ	Canada	12 (1)	15	23
アルゼンチン共和国	Argentina	2	1	
ウルグアイ東方共和国	Uruguay	1		
グアテマラ共和国	Guatemala	1		
コスタリカ共和国	Costa Rica	1 (1)		
コロンビア共和国	Colombia	2		1
ジャマイカ	Jamaica	1 (1)		
チリ共和国	Chile	2		3
ブラジル連邦共和国	Brazil	5	4	7
ペルー共和国	Peru	2		2
ホンジュラス共和国	Honduras	1 (1)		
メキシコ合衆国	Mexico	10 (1)	1	28
オーストラリア連邦	Australia	15	25	38
ニュージーランド	New Zealand	1		
フィジー共和国	Fiji	1		
ミクロネシア連邦	Micronesia	1 (1)		
エジプト・アラブ共和国	Egypt	1		
エチオピア連邦民主共和国	Ethiopia	1 (1)		
ガーナ共和国	Ghana	1 (1)		
カメルーン共和国	Cameroon	1		
ケニア共和国	Kenya	2 (2)		
コートジボワール共和国	Côte d'Ivoire	2 (1)		
コンゴ民主共和国	Congo	1 (1)		
ジンバブエ共和国	Zimbabwe	1 (1)		
タンザニア連合共和国	Tanzania	1 (1)		
チュニジア共和国	Tunisia	1 (1)		
ブルキナファソ	Burkina Faso	1 (1)		
ベナン共和国	Benin	1 (1)		
マラウイ共和国	Malawi	1 (1)		
南アフリカ共和国	South Africa	2	2	1
合計		409 (64)	388	684

※協定校数()内は内数で学術交流協定校(学生交換は行っていない)
 ※交換留学生数は、在外履修制度による派遣・受入学生、MAGISコンソーシアム加盟大学からの受入学生、および3キャンパス種交換留学、3+2プログラム派遣学生を含む

海外短期プログラム 参加者数

プログラム名	参加者数	
	渡航型	オンライン
海外短期語学講座	325	—
海外短期研修	100	7
AJCU-AP サービスラーニングプログラム	3	—
グローバルリーダーシッププログラム	6	—
アフリカに学ぶA (春学期)	—	—
アフリカに学ぶB (秋学期)	13	—
インドの社会経済・人間開発に学ぶ： 南インドのケララ州を実例に	14	—
ジュネーブ国際機関集中研修	24	—
東南アジアに学ぶ (春学期)	18	—
東南アジアに学ぶ (秋学期)	18	—
エストニア・スタディーツアー： 持続可能な社会構築に向けた教育の可能性	13	—
国連の役割と機能	25	—
オーストラリア・サミット・プログラム	12	—
多文化共生社会とリーダーシップ (米国ゴンザガ大学プログラム)	—	—
合計	571	7

グローバル教育センター科目(海外拠点)参加者数

プログラム名	参加者数	
	渡航型	オンライン
グローバルインターンシップ科目(短期)	21	4
グローバルインターンシップ科目(長期)	3	—
Sophia GEDグローバルインターンシップ(長期)	—	1
合計	24	5

海外留学生対象短期プログラム Sophia Short-term Program参加者数

プログラム名	参加者数
Summer Session in Japanese Language	67
Summer Session in East Asian Studies	92
January Session in Japanese Studies	69
合計	228

※本学正規生の参加者数は含めず。3日間以上本学にて授業を行ったもののみ記載。

交換留学協定校・学術交流協定校

※1 学術交流協定のみ
 ※2 イエズ会大学 2025年3月31日現在

North America

<p>Canada University of Alberta The University of British Columbia King's University College at the University of Western Ontario Université Laval The University of Manitoba McGill University University of Regina University of Victoria The University of Western Ontario Université de Montréal York University University of Ottawa ※1</p> <p>U.S.A. The University of Arizona Bennington College Boston College ※2 California State University, Fullerton University of California, Santa Cruz Canisius College ※2 The Catholic University of America Clemson University The University of Connecticut Creighton University ※2 University of Colorado Boulder DeSales University Duquesne University George Mason University Georgetown University ※2 The George Washington University</p>	<p>University of Georgia Georgia Institute of Technology Gonzaga University ※2 Haverford College University of Hawaii at Manoa College of The Holy Cross ※2 John Carroll University ※2 The University of Kansas Le Moyne College ※2 Loyola Marymount University ※2 Loyola University Chicago ※2 Loyola University New Orleans ※2 University of Louisiana at Lafayette Marquette University ※2 University of Massachusetts Amherst University of Massachusetts Boston University of Miami University of Minnesota The University of Mississippi University of Missouri University of Montana The New School University of North Carolina at Chapel Hill University of North Carolina at Charlotte North Carolina State University University of North Florida Northwest Missouri State University The University of Notre Dame du Lac Pace University The University of Pittsburgh University of Portland Rose-Hulman Institute of Technology</p>	<p>Saint Mary's College of California Saint Joseph's University ※2 Saint Peter's University ※2 San Diego State University San José State University University of San Francisco ※2 Santa Clara University ※2 The University of Scranton ※2 Seattle University ※2 Seton Hall University St. John's University St. Mary's University St. Norbert College University of St.Thomas Suffolk University Tennessee Tech University The University of Texas at Austin University of Virginia Washington and Jefferson College University of West Florida University of West Georgia Winona State University University of Wisconsin-Madison University of Wisconsin-Whitewater Wittenberg University Xavier University ※2 York College of Pennsylvania University of California, Los Angeles, School of Nursing ※1 Fordham University ※1 ※2</p> <p>小計……………89校</p>
---	---	---

Asia

<p>Brunei Universiti Brunei Darussalam</p> <p>China Beijing Foreign Studies University Central University of Finance and Economics China Foreign Affairs University Dalian University of Technology Fudan University Harbin Institute of Technology Nankai University Peking University Renmin University of China Sichuan University Shanghai International Studies University Tsinghua University Wuhan University Xiamen University The Chinese University of Hong Kong The Chinese University of Hong Kong, Shenzhen Hong Kong University of Science and Technology The University of Hong Kong The Education University of Hong Kong City University of Hong Kong University of Macau Xi'an Jiaotong-Liverpool University Beijing International Studies University ※1 Chang'an University ※1 Huazhong University of Science and Technology ※1 Inner Mongolia University of Technology ※1 University of Electronic Science and Technology of China ※1 Yanshan University ※1</p> <p>Indonesia Universitas Gadjah Mada Universitas Indonesia</p>	<p>Institut Teknologi Bandung IPB University Petra Christian University Sanata Dharma University ※2 Atma Jaya Catholic University of Indonesia ※1 Maranatha Christian University ※1</p> <p>Malaysia Universiti Kebangsaan Malaysia University of Malaya Universiti Teknologi Malaysia University Utara Malaysia ※1</p> <p>Philippines Ateneo de Manila University ※2 De La Salle University University of the Philippines</p> <p>Singapore Yale-NUS College Singapore Management University</p> <p>South Korea Catholic University of Daegu The Catholic University of Korea Hankuk University of Foreign Studies Hanyang University Pusan National University, College of Humanities Seoul National University Sogang University ※2 Sookmyung Women's University Yonsei University</p> <p>Taiwan Fu Jen Catholic University ※2 National Chengchi University National Taiwan University</p> <p>Thailand Chiang Mai University Chulalongkorn University Mahidol University</p>	<p>Thammasat University Kasetsart University King Mongkut's University of Technology Thonburi ※1 Khon Kaen University ※1 Panyapiwat Institute of Management ※1 Thai-Nichi Institute of Technology ※1 Xavier Learning Community ※1 ※2</p> <p>Cambodia Royal University of Phnom Penh Royal University of Fine Arts ※1</p> <p>India CHRIST (Deemed to be University) Assumption College ※1 Kristu Jayanti College ※1 Jadavpur University ※1 Indian Institute of Technology Delhi ※1 Loyola College of Social Sciences ※1 ※2 O. P. Jindal Global University ※1 St. Aloysius (Deemed to be University) ※1 ※2 St. Berchmans College ※1 St. Joseph's University ※1 ※2 St. Teresa's College ※1 St. Xavier's College, Ahmedabad ※1 ※2 St. Xavier's College, Jaipur ※1 ※2 St. Xavier's College, Kolkata ※1 ※2 St. Xavier's College, Mumbai ※1 ※2</p> <p>Laos National University of Laos ※1</p> <p>Mongolia Mongolian University of Science and Technology ※1</p> <p>Vietnam Foreign Trade University Can Tho University ※1</p> <p>小計……………89校</p>
--	--	--

Latin America

<p>Argentina Universidad Católica de Córdoba ※2 Universidad del Salvador</p> <p>Brazil Universidade de Brasília Universidade Estadual de Campinas Pontifícia Universidade Católica do Rio Grande do Sul Pontifícia Universidade Católica de São Paulo Universidade de São Paulo</p> <p>Chile Pontifícia Universidad Católica de Chile Universidad Alberto Hurtado ※2</p>	<p>Colombia Pontificia Universidad Javeriana ※2 Universidad de los Andes</p> <p>Costa Rica University for Peace ※1</p> <p>Guatemala Universidad Rafael Landívar ※2</p> <p>Honduras Universidad Nacional Autónoma de Honduras ※1</p> <p>Mexico Universidad de Guadalajara Universidad de Guanajuato Universidad Iberoamericana Ciudad de México ※2 Universidad Iberoamericana León ※2</p>	<p>Instituto Tecnológico Autónomo de México Instituto Tecnológico y de Estudios Superiores de Monterrey Instituto Tecnológico y de Estudios Superiores de Occidente ※2 Universidad Nacional Autónoma de México El Colegio de México Instituto de Investigaciones Dr. José María Luis Mora ※1</p> <p>Peru Universidad Pacifico Pontificia Universidad Católica del Perú</p> <p>Uruguay Universidad Católica del Uruguay ※2</p> <p>Jamaica The University of West Indies ※1</p> <p>小計……………28校</p>
--	--	---

Europe

Austria

Universität Graz

Belarus

Belarusian State University
Minsk State Linguistic University

Belgium

Ghent University
Université Catholique de Louvain
Université de Namur ※2

Bosnia-Herzegovina

University of Sarajevo ※1

Croatia

University of Zagreb
The Zagreb School of Economics and Management

Cyprus

University of Cyprus

Czech Republic

Anglo-American University
Charles University, Faculty of Arts

Denmark

Aarhus University

Estonia

University of Tartu

Finland

Aalto University School of Business
Hanken School of Economics
The University of Turku

France

Université d'Aix-Marseille
Université d'Angers
Université Catholique de l'Ouest in Angers
EAC Group Business School of Arts, Culture and Luxury
Burgundy School of Business
École Supérieure des Sciences Commerciales D'Angers
Université Marie & Louis Pasteur
Institut Catholique de Paris
Institut d'Etudes Politiques de Grenoble
Institut d'Etudes Politiques de Paris
Institut National des Langues et Civilisations Orientales
NEOMA Business School
Université Catholique de Lille
Université Catholique de Lyon
Université Panthéon-Assas Paris II
Université Paris X Nanterre
Université Bordeaux Montaigne
Université de Lille
Université Jean Moulin Lyon 3
Université de Strasbourg
ESSEC Business School
Institut Catholique de Toulouse
Université Paris-Dauphine
Université Paul-Valéry Montpellier 3
École française d'Extrême-Orient ※1
Sorbonne Université ※1

Germany

Universität Bayreuth
Rheinische Friedrich-Wilhelms-Universität Bonn
Freie Universität Berlin
Technische Universität Berlin
Bremen University of Applied Sciences
Heinrich-Heine-Universität Düsseldorf
Katholische Universität Eichstätt-Ingolstadt
European University Viadrina
Albert-Ludwigs-Universität Freiburg
Johann Wolfgang Goethe-Universität, Frankfurt am Main
Ruprecht-Karls-Universität Heidelberg
Universität zu Köln

Hochschule für Wirtschaft und Gesellschaft Ludwigshafen
Martin-Luther-Universität Halle-Wittenberg
Hochschule für Philosophie München ※2
Universität Paderborn
Universität Rostock
Universität des Saarlandes
Philosophisch-Theologische Hochschule Sankt Georgen ※2
Technische Hochschule Nürnberg Georg Simon Ohm
Universität Trier
Eberhard Karls Universität Tübingen
Universität Witten/Herdecke
University of Hamburg
University of Bamberg
Universität Duisburg-Essen
Universität Erfurt
Ludwig-Maximilians-Universität München
Julius-Maximilians-Universität Würzburg

Hungary

Eötvös Loránd University
The University of Pécs

Iceland

University of Iceland

Ireland

Dublin City University

Italy

Università di Cagliari
Università Carlo Cattaneo
Università Cattolica del Sacro Cuore
Università Ca' Foscari Venezia
Università degli studi di Napoli "L'Orientale"
Università degli Studi di Perugia
Università di Macerata
Università di Roma "La Sapienza"
Università per Stranieri di Perugia ※1

Kazakhstan

Al-Farabi Kazakh National University

Kosovo

University of Prishtina ※1

Liechtenstein

University of Liechtenstein

Lithuania

Vilnius University
Vytautas Magnus University

Luxembourg

Université du Luxembourg

Netherlands

University of Amsterdam, Faculty of Social and Behavioural Sciences
Leiden University
Rotterdam Business School
Vrije Universiteit Amsterdam ※1

North Macedonia

Ss. Cyril and Methodius University in Skopje ※1

Norway

University of Oslo
University of South-Eastern Norway

Poland

Jagiellonian University
Warsaw University of Technology

Portugal

Universidade de Aveiro
Universidade Católica Portuguesa
Universidade de Coimbra
Universidade do Minho
Universidade do Porto

Romania

University of Bucharest

Russia

Far Eastern Federal University

Herzen State Pedagogical University of Russia
Moscow City University
Moscow State Institute of International Relations (University) of the Ministry of Foreign Affairs of the Russian Federation
Moscow State University
Petrozavodsk State University
Ryazan State University
Saint Petersburg State University
Saint-Petersburg State University of Culture
Voronezh State University

Serbia

University of Belgrade ※1

Slovenia

University of Ljubljana

Spain

Universitat Autònoma de Barcelona
Universidad de Burgos
Universidad Católica de Valencia San Vicente Mártir
Universidad Pontificia Comillas ※2
Universidad de Córdoba
Universidad de Deusto ※2
Universidad de Granada
Universidad de Jaén
Universidad de La Laguna
Universidad de Las Palmas de Gran Canaria
Universitat de Lleida
Universidad Autónoma de Madrid
Universidad Loyola Andalucía ※2
Universidad de Navarra
Universidad de Salamanca
Universidad de Sevilla
Universitat de València

Sweden

University of Gothenburg
Linköping University
Linnaeus University
Uppsala Universitet
Umeå University

Switzerland

Franklin University Switzerland
The Graduate Institute of International and Development Studies
Université de Genève
Universität St.Gallen
Zurich University of Applied Sciences

U.K.

Birkbeck, University of London
The University of Birmingham
University of Bristol
De Montfort University
University of East Anglia
The University of Edinburgh
University of Hertfordshire
University of Leeds
Newcastle University
The University of Reading
The University of Stirling
University of London the School of Oriental and African Studies
The University of Sheffield
St Mary's University Twickenham London
York St John University
Liverpool Hope University ※1

Ukraine

Ukrainian Catholic University ※1

Uzbekistan

Tashkent State Institute of Oriental Studies

小計.....164校

Oceania

Australia

The University of Adelaide
Australian Catholic University
Deakin University
Griffith University
La Trobe University
Macquarie University
The University of Melbourne
The University of Notre Dame Australia
The University of Queensland
Royal Melbourne Institute of Technology (RMIT University)
The University of Sydney
University of Technology, Sydney
The University of Western Australia
University of Wollongong
Western Sydney University

Fiji

The University of the South Pacific

Micronesia

College of Micronesia-FSM ※1

New Zealand

The University of Auckland

小計.....18校

Africa

Benin

Université d'Abomey-Calavi ※1

Burkina Faso

University Ouaga II ※1

Cameroon

Catholic University of Central Africa ※2

Congo

University Loyola du Congo ※1 ※2

Côte d'Ivoire

Centre de Recherche et d'Action pour la Paix ※2
Université Félix Houphouët-Boigny ※1

Egypt

Egypt-Japan University of Science and Technology

Ethiopia

Addis Ababa University ※1

Ghana

Catholic Institute of Business and Technology ※1

Kenya

Hekima University College ※1 ※2
University of Nairobi ※1

Malawi

University of Malawi ※1

South Africa

University of Pretoria, Faculty of Humanities
Stellenbosch University

Tanzania

Sokoine University of Agriculture ※1

Tunisia

University of Sousse ※1

Zimbabwe

Arrupe Jesuit University ※1 ※2

小計.....17校

Middle East

Iraq

University of Baghdad ※1

Israel

Tel Aviv University ※1

Lebanon

Université Saint-Joseph ※2

Turkey

Istanbul Bilgi University

小計.....4校

学生納付金

学部新入生

(単位：円)

	神学部・文学部（新聞学科除く）・ 総合人間科学部（心理学科・看護 学科除く）・法学部・経済学部・ 外国語学部・総合グローバル学部 ※SPSFを除く	新聞学科	心理学科	看護学科	理工学部	国際教養 学部	SPSF
合 計	1,360,650	1,401,650	1,439,650	1,886,650	1,883,650	1,608,650	1,584,650

学部在学生

(単位：円)

	神学部・文学部（新聞学科除く）・ 総合人間科学部（心理学科・看護 学科除く）・法学部・経済学部・ 外国語学部・総合グローバル学部 ※SPSFを除く			新聞学科			心理学科		
	2023年度 入学者	2022年度 入学者	2021年度 入学者	2023年度 入学者	2022年度 入学者	2021年度 入学者	2023年度 入学者	2022年度 入学者	2021年度 入学者
合 計	1,158,000	1,078,000	1,118,000	1,199,000	1,119,000	1,159,000	1,237,000	1,158,000	1,198,000

	看護学科			理工学部			国際教養学部		
	2023年度 入学者	2022年度 入学者	2021年度 入学者	2023年度 入学者	2022年度 入学者	2021年度 入学者	2023年度 入学者	2022年度 入学者	2021年度 入学者
合 計	1,684,000	1,637,000	1,677,000	1,681,000	1,634,000	1,674,000	1,382,000	1,304,000	1,344,000

	SPSF		
	2023年度 入学者	2022年度 入学者	2021年度 入学者
合 計	1,382,000	1,304,000	1,344,000

大学院新入生

(単位：円)

	博士前期課程・修士課程						
	文科系研究科 (心理学専攻・看護 学専攻を除く)	心理学専攻		理工学研究科	地球環境学 研究科	看護学専攻	応用データ サイエンス学位 プログラム
		基礎心理学 コース	臨床心理学 コース				
合 計	921,400	951,400	1,001,400	1,597,900	1,032,400	1,439,400	1,701,400

	博士後期課程			
	文科系研究科 (心理学専攻・看護 学専攻を除く)	心理学専攻	理工学研究科	地球環境学研究科
合 計	803,100	833,100	1,023,600	869,100

※大学院長期履修制度及び法学研究科法曹養成専攻の学費を除く

大学院在学生

(単位：円)

合 計	博士前期課程・修士課程						
	文科系研究科 (心理学専攻を 除く)	心理学専攻		理工学研究科	地球環境学 研究科	看護学専攻	応用データ サイエンス学位 プログラム
		基礎心理学 コース	臨床心理学 コース				
760,000	790,000	840,000	1,436,500	871,000	1,278,000	1,540,000	

合 計	博士後期課程							
	文科系研究科 (心理学専攻を 除く)		心理学専攻		理工学研究科		地球環境学研究科	
	2023年度 入学者	2022年度 入学者	2023年度 入学者	2022年度 入学者	2023年度 入学者	2022年度 入学者	2023年度 入学者	2022年度 入学者
601,000	641,000	631,000	671,000	821,500	861,500	667,000	707,000	

※大学院長期履修制度及び法学研究科法曹養成専攻の学費を除く

法学研究科法曹養成専攻

(単位：円)

合 計	標準（3年制）コース			短縮（2年制）コース	
	2024年度 入学者	2023年度 入学者	2022年度 入学者	2024年度 入学者	2023年度 入学者
1,466,020	1,169,000	1,209,000	1,443,680	1,209,000	

助産学専攻科

(単位：円)

合 計	2024年度 入学者
1,542,800	

※在学継続の学生、大学院長期履修制度の適用者及び非正規生の学費については別に定める

奨学金

新入生奨学金	対象	本学を第一志望とする学部新入生及び大学院新入生。経済的理由により入学が困難、かつ本学に入学する以前の成績が優秀な者。入試出願と同時期に要申請。
	給付額	初年度の授業料相当額、授業料半額相当額、授業料3分の1相当額のいずれか。
ジョン・ニッセル杯奨学金	対象	本学の学部入学を許可された者のうち、入学以前の学校在籍時に本学が主催するジョン・ニッセル杯において6位までに入賞した者。
	給付額	修業年限内の授業料相当額、半額相当額、3分の1相当額のいずれか（毎年継続審査あり）。
修学奨励奨学金	対象	学業成績が良好であるにもかかわらず、経済的理由で学業の継続が困難と認められる学部生及び大学院生（家計支持者の死亡等による家計急変者については募集の時期に関わらず対象）。
	給付額	授業料相当額、授業料半額相当額、授業料3分の1相当額のいずれか。
大規模災害による学生納付金減免及び生活支援金給付	対象	災害救助法に適用された地域に本人または保証人住所を持つ学部生及び大学院生。
	給付額	入学金、授業料については全壊・授業料相当額、半壊・授業料半額相当額のいずれか。また生活支援金として、自宅外通学者5万円、自宅通学者3万円給付。
カトリック高等学校対象特別入学試験奨学金	対象	上智大学カトリック高等学校対象特別入学試験に合格した学部新入生で、経済的理由により入学が困難、かつ本学の建学の理念を十分に理解し将来その発行者として活躍しうる者。入試出願と同時期に要申請。
	給付額	授業料相当額、授業料半額相当額、授業料3分の1相当額のいずれか（修業年限採用※毎年継続審査あり）。
大学院博士後期課程研究者育成奨学金	対象	博士後期課程に在学し、明確な研究計画を有し、鋭意研究に取り組み、学位取得に充分到達すると研究科が判断する者。
	給付額	理工学研究科400,000円、理工学研究科以外300,000円（修業年限採用※毎年継続審査あり）
法科大学院法曹コース特別奨学金	対象	本法曹コースに在籍し、法学部から法学研究科法曹養成専攻への進学を許可された者のうち、極めて優秀かつ在学中の司法試験合格を目指す者。
	給付額	授業料相当額（修業年限採用※毎年継続審査あり）
法科大学院在学特別奨学金	対象	学業成績等が優秀で、将来国内外の様々な社会的要請に貢献できる優秀な法曹に至る見込みのある法科大学院在学学生。
	給付額	授業料相当額または授業料半額相当額
デュアルディグリープログラム奨学金	対象	デュアルディグリープログラムに参加する学業成績が極めて優秀と認められる大学院生。
	給付額	留学中の本学授業料及び教育充実費相当額
利子補給奨学金	対象	上智大学が提携する金融機関のローンを契約し学費を納入した者。
	給付額	教育ローン利息分（上限あり）
外国人留学生生活支援奨学金	対象	学業成績良好かつ経済的支援が必要と思われる私費外国人留学生。
	給付額	300,000円
篤志家奨学金		篤志家の寄付による奨学金で、それぞれの篤志家の意向に適合すると認められる優秀な学生を支援するもの。 〈出願制〉・森正文・修学支援（経済的理由により学業の継続が困難な学部生・大学院生）・松本あす加・ドイツ語学科（ドイツ語圏への留学が決定し、経済的理由により学業の継続が困難なドイツ語学科生）・理工学部同窓会（海外短期研修、海外研究発表等、グローバルな視野を培う活動を行っている者）・教育学科（教育学科生）・竹島久子イギリス研究（イギリス留学決定者またはイギリスに強い関心を持ち、イギリス文学、政治、経済、外交、歴史等イギリスを研究領域とする日本人の学部3年次生、4年次生及び大学院生）・川中なほ子（神学又はJ・H・ニューマンを研究対象とする学部生・大学院生）・ティヤール・ド・シャルダン（優秀な課題論文を提出した学部4年次生及び大学院生）・優心（心理学科に所属する関東地方を除く地域から進学した自宅外通学生）・経済学部・経蔵会（海外留学経験者、ボランティア、ゼミ、部・サークル活動で成果を上げた経済学部生）・学生寮（学業、課外活動、その他社会貢献活動で活躍している学部生・大学院生）・UD TRUCKS GLOBAL CHALLENGE SCHOLARSHIP（グローバル社会における諸問題に関心があり、将来グローバル企業等で活躍する高い志を持つ学部1年次生～3年次生及び大学院博士前期課程1年次生）・(株)ソフィアキャンパスサポート生活支援（家庭環境の急変により修学継続が困難となった学部生・大学院生）・理工学振興会（理工学研究科生）・創立100周年上智・聖母看護（看護学科を第一志望に受験した一般入試成績上位者）・ソフィア会生活支援（公募制推薦入試に合格した者のうち、首都圏（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県）以外の地域出身かつ進学後に自宅外通学をする者）・フランク・アンド・ジェーン・スコリノス（学部生、学業成績が良好で経済的理由で学業の継続が困難な者）・安達（東南アジア・アフリカ諸国からの私費外国人留学生）・小高（学部生、学業成績が良好で経済的理由で学業の継続が困難な私費外国人留学生）・センチューリー（アジア諸国出身の私費外国人留学生）・アジア留学生（東・東南アジアからの、学部1年次生及び大学院1年次生を除く私費外国人留学生）・タイキン留学生（論文を提出しその評価が優れている私費外国人留学生）・住友商事（ベトナム国籍を有する私費外国人留学生）・第一興商（東南アジア及び東アジアからの私費外国人留学生）・中国留学生会（中国国籍を有し、学業成績が優秀かつ経済的理由により学業の継続が困難な私費外国人留学生）・理工学部企業経営者の会（理工学研究科博士後期課程に在籍し、優秀な研究業績を収め、将来の活躍が大いに期待される者）・二幸産業株式会社記念（経済的に困難な東南アジア・南アジア・アフリカ出身の私費外国人留学生）・チエル株式会社記念（経済的に困難な東南アジア・アフリカ出身の私費外国人留学生）・フォス神父・ディーターズ神父・木村説二記念（経済的に困難なアフリカ出身の私費外国人留学生）・金沢燦燦会勉学奨励金（経済的に困難な私費外国人留学生）・留学生夢支援感謝論文奨学金（母国と日本の架け橋として「夢」を実現しようとする私費外国人留学生）
		〈推薦制〉・ハル濱学院顕彰（ロシア・ソ連研究を志し、それを証する成果を上げたロシア語学科生及び大学院生）・大泉（文・総合人間科学部生）・国文（国文学科・国文学専攻生）・セントルイス（フランス文学科生及びフランス文学専攻生）・ラッセル・ブライズ（新聞学科3年次生・4年次生）・鈴木雄雅・新聞学科（新聞学科生及び新聞学専攻生）・CNA保険（日本国籍を有し、学業成績が優秀で、文化、政治、法律及び経済のいずれかの分野で国際研究を行う神・理工を除く各学部3年次生・4年次生）・西村（イスパニア語学科生）・沼田拓実（化学分野を専攻する理工学部生）・独文・独語（ドイツ文学科生及びドイツ語学科生）・神学部（神学部生）・熊谷（神学研究科生）・創立100周年上智・聖母看護（看護学科生）・愛と会緩和ケア看護（がん・緩和ケア看護の分野を学ぶ総合人間科学研究科看護学専攻生）・英文学科（交換留学をする英文学科生）・レモス（国際教養学部生）・ソフィアLAWファンド（法学部及び法科大学院生）・経蔵会（経済学部生）・後援会（経済的理由により学業の継続が困難な学部生）・SOPHIAプレート（経済的理由により学業の継続が困難な学部生・大学院生）・英語学科先哲（学部生）・伊藤鎮（研究業績が極めて優秀な理工学研究科理工学専攻機械工学領域学生）・原子物理学国際交流（原子物理学を研究する大学院生のうち、奨学金による補助が必要な留学生、あるいは国際会議等での発表に当たり奨学金による補助が必要な学生）・フランシスコ・スアレス（大学及び入学試験の成績が優秀で、将来国内外の様々な社会的要請に貢献できる優秀な法曹に至る見込みのある法科大学院新入生）・ヴァーカーリ（国際教養学科の2年次生～4年次生の私費外国人留学生）・ロベール・バロン（グローバル社会専攻及び国際教養学部の私費外国人留学生）・理工学部同窓会（本学理工学研究科博士後期課程への進学を目指し、早期卒業制度の適用が認められた学部3年次生・博士前期課程1・2年次生）・理工大学院進学支援（成績優秀かつ本学理工学部から理工学研究科博士前期課程に内部進学する者）
		〈その他〉・枢機卿奨学金（ミャンマー司教団等から推薦されたカトリック信者である私費外国人留学生）・難民学生支援奨学金（国連難民高等弁務官（UNHCR）駐日事務所から推薦された難民もしくは難民の背景をもつ私費外国人留学生）・上智大学大学院地球環境学研究所留学計画特別（MCT）奨学金①/上智大学大学院地球環境学研究所留学計画特別（UWI Cave Hill）奨学金②（国際協力推進協会（APIC）との教育提携のもと上智大学大学院地球環境学研究所に私費留学生として①ミクロネシアで環境活動に従事する研究者/②UWI Cave Hillの推薦による環境保護に関心の高い学生）・イエズス会推薦外国人学生奨学金（イエズス会より推薦され原則としてアフリカ地域からのイエズス会士又はイエズス会神学生である外国人学生/又はMyanmar Jesuit Regionより推薦された私費外国人留学生）・上智大学外国人学生緊急特別支援奨学金（戦争、大規模災害等により修学の継続が困難となり学費又は生活費の支援を必要とする本学正規生）
海外指定校奨学金		本学を第一希望とし、本学海外指定校からの推薦を受け入学が許可された私費外国人留学生を対象に奨学金を給付するもの。 ・海外指定校奨学金（インドネシア）・海外指定校奨学金（ミクロネシア）・海外指定校奨学金（東ティモール）

研究・知的財産等

教育・研究事業の採択状況

- (a) 文部科学省 人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業 [2023年度～2026年度]
「英語教育学イニシアティブ・プログラム」 ※東京外国語大学（代表校）、筑波大学・上智大学（連携校）
- (b) 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 生命科学・創薬研究支援基盤事業 [2022年度～2026年度]
「標的RNAと医薬品候補化合物（核酸・ペプチド等新規モダリティを含む）複合体生成・共結晶化による支援と高度化（1-4）」
「RNAターゲット創薬のためのRNA分子設計・共結晶化・試料調製支援と高度化」
- (c) 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 燃料電池等利用の飛躍的拡大に向けた共通課題解決型産学官連携研究開発事業／共通課題解決型基盤技術開発 [2020年度～2024年度] 「高耐久性を目指したラジカルクエンチャーの研究開発」
- (d) 国立研究開発法人科学技術振興機構 戦略的創造推進事業 ALCA-Next [2023年度～2026年度]
「鉛フリーハロゲン化金属ペロブスカイトの2次元構造制御による高効率・高耐久性太陽電池」
- (e) 国立研究開発法人科学技術振興機構 革新的GX技術創出事業 GteX [2023年度～2027年度] 「高耐久性ポリマー系バインダーの開発」
- (f) 国立研究開発法人科学技術振興機構 国際科学技術共同研究推進事業・地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム SATREPS [2024年度～2028年度]
- (g) 国立研究開発法人科学技術振興機構 次世代研究者挑戦的研究プログラム (SPRING)
「持続可能な社会の未来を拓くグローバル博士人材育成プロジェクト (Sophia SPRING Project)」
- (h) 国際連合教育科学文化機関 (ユネスコ) 「人間の尊厳、平和、サステナビリティのための教育に関するユネスコチャーター」
- (i) 東京都「大学発スタートアップ創出支援事業」 [2024年度～2025年度]
- (j) 新宿区 大学等との連携による商店街支援事業補助金
「あけぼのばし商店街（住吉町商工会）キャラクター「あけぼのバニー」リニューアル告知キャンペーン」

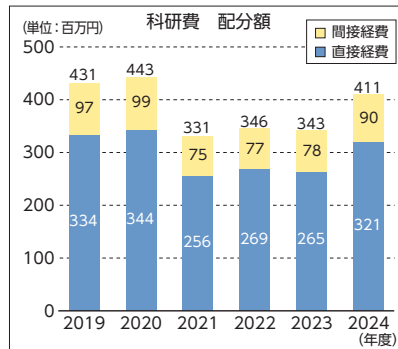
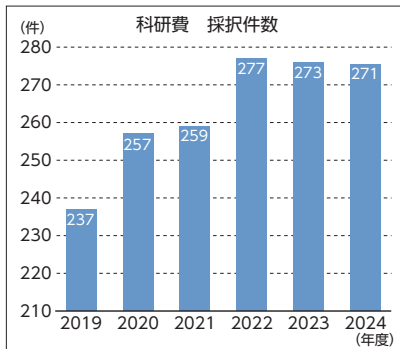
科学研究費助成事業（科研費）（文部科学省・日本学術振興会）

（※括弧内は2023年度との比較。金額は百万円未満四捨五入）

（単位：百万円）

件数	271件（2件減）
金額	411百万円（68百万円増）
直接経費	321百万円（56百万円減）
間接経費	90百万円（12百万円増）

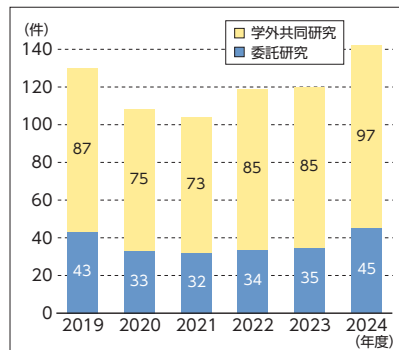
年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	
採択件数	237	257	259	277	273	271	
金額	直接経費	334	344	256	269	265	321
	間接経費	97	99	75	77	78	90
合計額	431	443	331	346	343	411	



委託研究・学外共同研究（※括弧内は2023年度との比較）

委託研究	45件（10件増）
学外共同研究	97件（12件増）

年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
委託研究	43	33	32	34	35	45
学外共同研究	87	75	73	85	85	97



知的財産（※括弧内は2023年度との比較）

特許出願・登録状況	特許出願件数	18件	国内：14件（6件減）、海外：4件（3件減）
	特許登録件数	28件	国内：17件（7件増）、海外：11件（2件減）
発明に係る褒賞授与	2025年2月、研究活動において発明を創出し、本学の知的財産の発展に寄与した特許発明者20名に、褒賞金が支払われた。		

事業の概要

■ 本学のホストで国際大学協会によるIAU International Conference2024を開催

2024年11月22日から24日まで、上智大学がホスト校を務め、四谷キャンパスでIAU International Conference 2024が開催されました。IAUは70年以上の歴史を持つ国際的な会員組織で、本学の擘道佳明学長はIAUアジア太平洋地域の理事を務めています。会議には約80の国と地域から320人が参加しました。

本年度は「変わりゆく世界の中で大学の価値」をテーマとして掲げ、急速に変化する社会において、大学が果たすべき役割や価値について議論が行われました。本学からは青木研教授（経済学部経済学科）と杉村美紀教授（総合人間科学部教育学科）が登場し、発表を行いました。議論では、技術革新が高等教育に与える影響や、学問の自由、研究の誠実性、大学の社会的責任について話し合われました。

また、在学生による日本文化体験企画も実施され、箏曲部や

少林寺拳法部の演武、折り紙や書道体験、茶道体験などが参加者に好評を博しました。特に、紀尾井亭での茶道体験では、本学の校章をあしらった練り切りを用意するなど、日本文化を深く体感できる内容を提供しました。

閉会式では、擘道学長がホスト校を代表して挨拶し、2025年度のホスト校がルワンダ大学であることを発表しました。本会議は、国際的な連携を強化し、大学の役割を再確認する貴重な機会となりました。



■ インド工科大学デリー校との協定締結を記念し「インドウィーク」を開催

2024年7月1日から3日にかけて「インドウィーク」を開催しました。インドの急速な経済成長と高い教育水準を背景に、上智大学とインド工科大学デリー校（IITD）が連携協定を締結したことを記念したイベントです。

初日には、シビ・ジョージ駐日インド大使を招いてシンポジウム「日本とインドの未来：大学の役割」を開催しました。基調講演では、日印両国の政治的・経済的・文化的な結びつきが強調され、続くパネルディスカッションでは、産学官の専門家が両国のパートナーシップの現状と展望について議論を交わしました。

2日目の午前中には、理工学部主催のワークショップ「機械工学—ヘルスケアと産業機械—」を開催し、両大学の研究発表を

実施。プログラム終了後には、IITD関係者に本学の施設を紹介するラボツアーの時間も設けました。午後には経済学部主催のワークショップ「University Students in India」を開催し、日印両国の大学生活の比較を通じて、学生交流の意義が議論されました。

最終日には、理工学部主催のワークショップ「持続可能な都市型交通」を開催し、先進的な研究発表と活発な質疑応答を実施。イベント全体を通じて、学術的な知見の共有とともに、今後の共同研究や学生交流の可能性が具体化されました。本イベントは、日印間の学術的・産業的連携を更に発展させる重要な一歩となりました。

■ IAJU International Education Conferenceを開催

2025年2月26日から28日にかけて、International Association of Jesuit Universities (IAJU：国際イエズス会大学連盟) 第3回国際教育会議を四谷キャンパスで開催しました。「国際化への挑戦と機会」をテーマとし、上智大学を含むIAJU加盟機関44校から国際教育担当の教職員約80名が参加しました。

IAJUは、イエズス会を設立母体とする世界50カ国以上200超の高等教育機関が加盟する国際ネットワークです。本会議は、各機関で国際教育分野に携わる教職員を対象とした実務的な会合で、国際教育のさまざまな取り組みや課題について加盟校同士で知見を共有し、より良い国際連携について議論するほか、IAJU内のネットワーキングの促進を目的として開催されています。

会期中は、イエズス会教育の根幹をなすトピックに関する基調講演やパネルディスカッション、グッドプラクティスやプロポーザルの発表、全員が議論に参加するワークショップなど多様なセッションが実施され、参加者が今後の国際連携の在り方や協働の可能性を考える機会となりました。また、菊地功枢機卿の主司式のもと、英語のミサを執り行っていたく特別な機会もあり

ました。さらに、文部科学省から日本の高等教育機関の国際化の取り組みや展望についてご講演いただき、活発な質疑応答からも、日本の国際化に関心が多く寄せられていることがうかがえました。

本会議は第1回（2019年）メキシコ、第2回（2022年）スペインに続き、アジア太平洋地域初となる日本（本学）での開催となりました。北米、中南米、ヨーロッパ、アフリカ、南アジア、アジア太平洋の全ての地域から参加があり、ネットワーキング強化の場となったことも、上智大学が果たした大きな役割となりました。



■ 日本初の「模擬アフリカ連合 (AU) 会議」を開催

上智大学は2024年8月23日、日本初の「模擬アフリカ連合会議 (模擬AU会議)」を開催しました。この会議はアフリカ連合 (AU) の総会を模擬するもので、JICA (国際協力機構)、UNDP (国連開発計画) と共催し、TICAD閣僚会合 (8月24日・25日 於東京) の関連イベントとして実施しました。本学はアフリカ地域の14カ国17機関と協定を結び、教育・研究交流を進めており、これらの活動を背景にホストを務めました。

学生たちは2～3人で各国代表を担い、アフリカからの留学生や研修生がメンターとして参加しました。本学からは7人が大使役、12人が会議運営を担うラポルトゥールとして参加。ラポ

ルトゥールは元国連広報官の指導を受け、議事録作成や通訳を担当しました。会議では、グリーンエコノミーや気候変動に関する課題について議論を行い、決議案を採択しました。午前中のセッションは四谷キャンパス、午後の本会議はホテルニューオータニで実施し、本会議では、UNDPアフリカ局長が模擬AU会議の意義を強調しました。

閉会式では、伊呂原隆学務担当副学長が参加者を称え、アフリカとの相互理解の重要性を述べました。模擬AU会議は、学生たちがアフリカへの理解を深める貴重な機会となりました。



■ UC Berkeley Executive Education共催 短期ビジネスコース「Innovation Boot Camp」を実施

UC Berkeley Executive Education (Haas School of Business内、以下Haas) との共催により、2024年12月9日から12日の4日間で短期ビジネスコース「Innovation Boot Camp」を実施しました。

本コースは、プロフェッショナル・スタディーズの会員企業等からのニーズに基づき、大企業におけるイノベーション創出を支援する目的で企画したものです。

講師として、HaasからはDr. Homa BahramiおよびProf. Saikat Chaudhuri、上智大学からは西口尚宏特任教授が参画。金融、製造、運輸、建設など多様な業種17社から32名のビジネスリーダーが受講しました。プログラムはディスカッションを交えながら常に双方向の対話の中で行われ、起業家のマインドセット、AIの戦略的展開、イノベーターの適応DNA等について学んだ後、

自社で実践するための振り返りを行いました。

修了式では、本学とHaas連名の修了証を授与。受講者満足度アンケートでは、全ての評価項目で6以上のスコア (7段階評価) を取得しました。



■ 上智大学が「次世代研究者挑戦的プログラム (SPRING)」に採択

上智大学は、国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) が実施する「次世代研究者挑戦的研究プログラム (SPRING)」に新規採択されました。SPRINGは、大学の研究科や研究室など既存の枠組みを越えて優秀な博士後期課程学生の選抜等を行う事業統括者を指名し、そのリーダーシップのもと、対象となる博士後期課程学生に対するさまざまな支援を実施・展開する大学の取り組みを国として支援するプロジェクトです。

本学が採択されたプロジェクトは「持続可能な社会の未来を拓くグローバル博士人材育成プロジェクト」(事業統括：高井健一教授 (理工学研究科委員長)) で、博士後期課程学生に対

する経済支援に加え、本学の強みを活かした3つの能力「学際性」「国際性」「人間性」を高めるプログラムの開発と学位取得後の多様なキャリアパスを実現するキャリア支援プログラムの構築を行います。

今回の採択を契機に、本学では博士前期課程も含めた大学院改革や研究力の強化を推進します。学生が研究に専念できる経済支援を含めた環境整備、そして学位取得後を視野に入れたキャリア開発などの支援をより一層充実させることにより、アカデミア・産業界など多様な場面で世界を舞台に社会課題解決を牽引する人材の育成に取り組んでまいります。

■ 上智地球市民講座(公開講座)、ソフィア・アントレプレナーシップ・ネットワーク (SEN) 事業を開始

「学びを志す多様な立場に、多層的な学びの場を提供する」をミッションに掲げるSophia Future Design Platform推進室では、2024年度より、「上智地球市民講座」と「ソフィア・アントレプレナーシップ・ネットワーク (SEN) 事業」の2つの新たな事業を開始しました。

4月に開講した上智地球市民講座は、「社会変革の時代に、自らの『地球市民』としての生き方を、前向きかつイノベティブにデザインするための学び～上智で出会う一歩先の自分～」をコンセプトとした公開講座で、社会課題、技術革新、社会変革の3つのテーマに関連する講座を、春19講座、秋17講座開講しました。2024年度は、中高生から80代までさまざまな年代、立場、バックグラウンドをもつ800名超の受講生に参加いただきました(受講満足度96%)。



また、11月には「ソフィア・アントレプレナーシップ・ネットワーク (SEN) 事業」を始動しました。SENは、「社会課題定義・解決型アントレプレナーシップ」に焦点を当て、国内外の団体・組織、有識者との協業を軸に、学部や学年を問わず全ての学生を対象として、新たなことに挑戦する力や企画立案する力を身につけ、社会実装に繋がるスキルやマインドセットを学ぶ場を提供していきます。

■ エジプト地域の塩害抑制を目指す文理融合型の国際共同研究プロジェクトの開始

外国語学部フランス語学科の岩崎えり奈教授が主導する研究プロジェクト「エジプト西部砂漠のオアシス社会における住民の理解と参画を軸とした水・土地資源の持続的利用モデルの構築」が開始しました。本プロジェクトは、国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) および独立行政法人国際協力機構 (JICA) が推進する「地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (SATREPS)」(2023年度) に採択されたもので、相手国であるエジプト・アラブ共和国側研究代表機関等との関連する契約締結が完了したことから、2025年1月より正式始動しました。

プロジェクトでは、中東北アフリカ地域の社会経済を専門とし、同地域において15年以上にわたる研究実績を持つ岩崎教授がリーダーとなり、社会学者と自然科学者からなる研究チームが文理連携による独創的なアプローチにより、エジプトの灌漑農地で拡大



する塩害の抑制と土地の持続的利用や、現地住民や行政と協働した、持続可能なオアシス地域管理手法の提案を目指します。

本研究の国内拠点として、2025年2月に上智大学水稀少社会研究センターを設立しました。相手国側研究代表機関の国立リモートセンシング宇宙科学機関、共同研究機関のニューバレー大学および国内参画機関等と連携し、文系主導で持続的な水利用の「オアシス知」を考えていく文理融合型の国際共同研究を推進してまいります。

■ 東京都「大学発スタートアップ創出支援事業」に採択

上智大学は、東京都の「大学発スタートアップ創出支援事業タイプII環境構築型」に採択されました。本事業は、大学の研究成果を活用したスタートアップ創出を支援するもので、学内の仕組みや体制整備を通じて新たな事業の創出を目指す取り組みです。2024年度は9大学が採択されました。

本学は「他者のために、他者とともに」の教育精神のもと、創立以来、世界の課題解決に資する研究・教育に取り組んできました。この教育精神を時代に即して発展させていく中で、社会的に弱い立場に置かれた人々に寄り添うことを特に重視してきました。

本事業では、誰一人として取りこぼすことなく持続可能な未来を実現する「包摂のイノベーション」という観点から、大学の

多様な知をスタートアップに活用する取り組みに着手します。東京都の多様性社会が抱える課題解決に向けての提案や、少子高齢化に伴う課題を抱えた地域の活性化、更にはこれらと共通の課題を抱える海外を含むその他の地域の課題解決に貢献することを目指します。

具体的には、学内シーズと市場ニーズの調査・分析、スタートアップ支援体制の整備、専門人材の配置、研究者へのアントレプレナーシップ研修などを実施します。これにより、共生・共創・共働を実現するビジネス創出を推進し、持続可能な未来の実現に寄与していきます。

■ フランス発のスポーツイベント「セシツアー トウキョウ (CÉCITOUR TOKYO)」を開催

パリ2024パラリンピック競技大会を目前に控えた2024年5月12日、上智大学とソフィア オリンピック・パラリンピック学生プロジェクトGo Beyondの主催で、視覚障害者スポーツの普及と関係者ネットワークの発展を目指した、フランス発祥の移動型イベント「セシツアー (CÉCITOUR)」を本学四谷キャンパスにて開催しました。2018年からパラスポーツを通じて共生社会への気づきや学びを発信してきたGo Beyondとその活動を通して出会った同イベント発起人であるフランスハンディスポーツ連盟シャルリ・シモ氏とのコラボレーションにより、フランス国外で初めての開催が実現しました。

当日は、パラスポーツ体験やアスリートトークショー、視覚障害者支援に関する技術展など多彩なプログラムが展開されました。特に注目を集めたのは、アイマスクを着用しながら声と心の合図でプレイするブラインドサッカーの体験や、視覚障害者に対する商品や技術を提供する企業の取り組みを紹介した「セシエキスポ」。AIがコース上のラインを認識して音声で案内することで目が見えなくても走れる技術や、振動を活用したナビゲーションシステムなどを多くの人に体験してもらうことで、今後の技術開発に活かしてもらう機会となりました。

■ 本学学生が日本代表として教皇フランシスコとの対話に参加

2024年6月20日、上智大学の学生が日本代表として「Building Bridges Across Asia Pacific: A Synodal Encounter between Pope Francis and University Students (アジア太平洋地域に橋をかける～教皇フランシスコと大学生が『ともに歩む』ための出会い～)」に参加しました。

これはLoyola University Chicagoと教皇庁ラテンアメリカのための特別委員会が世界の各地域で開催している「Building Bridges Initiative」というプログラムを初めてアジア太平洋地域で行ったもので、東アジア・東南アジア・オセアニア諸国の学生が参加し、社会正義や共通善を実現するための具体的な課題について教皇とオンラインで対話を行いました。

日本における事前準備として、本学の教職員がファシリテーターとなり、27名の学生(上智大学19名、エリザベト音楽大学5名、他大学3名)が祈りを通じて互いの意見に耳を傾ける霊的対話を行い、共通の目標を見出すプロセスを重ねました。

当日はその成果をもとに、日本代表として学生3名が教皇と

の対話に臨みました。各国の代表学生が発表した後、教皇は学生たちの質問に丁寧に答え、深い洞察と愛情をもって対話を進めました。

参加学生からは、「分かち合いの中で霊的対話を行ったとき、共通項を無理に選ばずとも話がまとまっていったことに驚いた」といった気づきも寄せられ、カトリックの教育精神と霊的対話を学ぶ貴重な機会に恵まれました。

※本稿の作成後、教皇フランシスコが帰天されました。謹んで哀悼の意を表します。



■ パラオ代表ホセイ有菜さん、上智大学からパリオリンピックの舞台へ

上智大学総合人間科学部教育学科SPSFコースに在籍するホセイ有菜さんは、2024年のパリオリンピックにパラオ代表として出場し、女子50m自由形で自己ベストを更新する快挙を成し遂げました。

ホセイさんは2023年9月にミクロネシアのザビエル高校から本学に入学し、水泳部に入部。2024年7月にパラオ代表としてオリンピック出場が決定。8月3日に行われた女子50m自由形の予選第3組では、全体で64位の成績を収め、記録は30秒52と自己ベストを更新しました。

幼少期から海と親しみ、水泳を続けてきた彼女は、2021年に世界水泳の選抜メンバーに選ばれたことをきっかけに、競泳選手としての道を歩み始めました。パラオの限られた練習環境の中で、海での練習を重ね、世界水泳でも結果を残しました。

上智大学に進学後、日本の高い競技レベルに触れ、技術面や

精神面で多くを学びました。オリンピック出場が決定した際には、パラオで支えてくれた方々への感謝の気持ちと、日本で出会った新たな仲間との絆を胸に、世界の舞台で力を発揮しました。



上智大学短期大学部

上智大学短期大学部では卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針を短期大学部ウェブサイトで公表しています。
<https://www.jrc.sophia.ac.jp>

教職員数等

教職員数

(2024年5月1日現在)

学校区分	教職員区分	本務	兼務	総計
上智大学短期大学部	教員	14	33	47
	職員	13	3	16
総計		27	36	63

※本務教員：専任教員・特別契約教授・特任教員・常勤嘱託教員・実務家教員・出向教員
 兼務教員：非常勤嘱託教員
 本務職員：専任職員・契約職員・嘱託職員
 兼務職員：嘱託職員（医師等）
 ※管理部門所属職員は上智大学に算入

年齢別教員数

(2024年5月1日現在)

学校区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	総計
上智大学短期大学部	0	0	1	6	6	1	14

※非常勤講師を除く
 ※平均年齢59.71（非常勤講師除く）

職階別教員数

(2024年5月1日現在)

学校区分	教授	准教授	講師	助教	助手	教員	総計
上智大学短期大学部	10	4	0	0	0	0	14

※非常勤講師を除く

教員一人当たり学生数

(2024年5月1日現在)

学校区分	学生数	本務教員数	
		教員数	一人当たり学生数
上智大学短期大学部	196	14	14.00

学生数

(2024年5月1日現在)

学校区分	入学定員	収容定員	学生数	収容定員充足率
上智大学短期大学部	250	500	196	39.20%

卒業者数等

学科	卒業者数	退学者数	中退率
英語科	116	10	5.10%

※卒業者数は、2024年9月卒業者、2025年3月卒業者を足上げた数字である
 ※退学者数は、2024年度に退学した1年次生、2年次生を足上げた数字である
 ※中退率は、2024年度の退学者数を2024年度5月1日時点の在籍者数で割ったものである

進路

2024年度 卒業者の進路

(人)

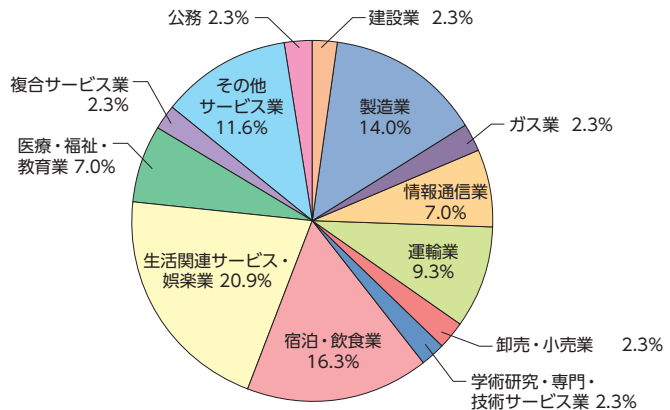
学 科	就職	進学	その他	未届者	合計
英語科	43	47	26	0	116

※「その他」は、編入学試験勉強、就職活動中、アルバイト等を含む
 ※2024年9月卒業者を含む ※進学は、大学編入学、留学、専門学校進学

就職

業種別進路状況

業種	人数	%
建設業	1	2.3%
製造業	6	14.0%
ガス業	1	2.3%
情報通信業	3	7.0%
運輸業	4	9.3%
卸売・小売業	1	2.3%
学術研究・専門・技術サービス業	1	2.3%
宿泊・飲食業	7	16.3%
生活関連サービス・娯楽業	9	20.9%
医療・福祉・教育業	3	7.0%
複合サービス業	1	2.3%
その他サービス業	5	11.6%
公務	1	2.3%
総 計	43	100.0%



進路先企業一覧

就職先	人数
ユメックスホーム株式会社	1
京セラ株式会社 神奈川秦野工場	1
セイコーエプソン株式会社	1
株式会社長倉製作所	1
ミツミ電機株式会社	1
ヒロセ電機株式会社	1
株式会社ワカヤマ	1
銚子燃料株式会社	1
株式会社スピードリンクジャパン	1
株式会社ソニックス	1
日本電算株式会社	1
インターナショナルエクスプレス株式会社	1
東洋埠頭株式会社	1
日本通運株式会社 横浜支店	1
日本通運株式会社 横浜国際輸送支店	1
株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス	1
共同エンジニアリング株式会社	1
アパホテル株式会社	2

就職先	人数
株式会社イワイ	1
株式会社グランベルホテル	1
株式会社ミリアルリゾートホテルズ	1
松島国際観光株式会社	1
ルートインジャパン株式会社	1
株式会社LIFE CREATE	4
株式会社オリエンタルランド	2
株式会社LAVA International	1
株式会社クリア	1
MPH株式会社	1
株式会社保健科学研究所	2
クレドクリニック	1
日本郵便株式会社 南関東支社	1
株式会社JALスカイ	1
株式会社JALスカイ札幌	1
羽田旅客サービス株式会社	3
陸上自衛隊	1
合 計	43

国際交流

海外短期語学講座

派遣先大学	国 名	開催時期	参加者数
オークランド大学	ニュージーランド	2024年8月10日(土)～9月8日(日)	4
オークランド大学	ニュージーランド	2025年2月8日(土)～3月7日(金)	5

海外スタディーツアー

派遣先大学	国名	開催時期	参加者数
延世大学	大韓民国	2024年8月4日（日）～8月28日（水）	1

ミクロネシア留学生受入状況

実施なし

オンライン語学講座

実施なし

学生納付金

(単位：円)

	新入生	在学生
合計	1,157,790	970,130

奨学金

名称	内容	給付額	対象	採用者数
創立40周年記念 特待生奨学金	一般入試A日程で成績上位3名	初年度の授業料全額相当額、授業料半額相当額、授業料の3分の1相当額のいずれか。	新入生	1
新入生奨学金	本学を第一志望とする新入生。経済的理由により入学が困難、かつ本学に入学する以前の高校の成績が優秀な者。入試出願時、要申請。	初年度の授業料全額相当額、授業料半額相当額、授業料の3分の1相当額のいずれか。	新入生	0
修学奨励奨学金	学業成績が良好である又は学習意欲が高いにもかかわらず、経済的理由によって学業の継続が困難と認められる学生。	授業料全額相当額、授業料半額相当額、授業料の3分の1相当額のいずれか。	1,2年	14
利子補給奨学金	金融機関の提携ローンを契約し、学費納入者を対象とする。	提携ローンの残額の利息に基づいて決定。	1,2年	0
大規模災害等 による特別措置	本人又は父母（家計支持者）が居住する家屋が、災害救助法適用地域（学長が同規模災害と認めた地域も含む）に指定され、罹災証明書が発行された者で、災害発生後3年以内に本学に入学又は在学している者を対象とする。	<ul style="list-style-type: none"> 被害状況により給付額が決定され、全壊の場合は授業料全額相当額、大規模半壊又は半壊の場合は授業料半額相当額を給付。 授業料減免が認められた者に対して、生活支援金（自宅外通学者 月額5万円、自宅通学者 月額3万円）を給付。 	1,2年	1
高等教育の修学支 援新制度授業料等 減免措置	対象者は、住民税非課税世帯や準ずる世帯、生活保護を受給している家庭で自宅外から通学している学生及び、社会的養護を必要とする学生、多子世帯の学生。	所得により3つの区分があり、授業料がそれぞれ620,000円（第一区分）、413,400円（第二区分）、206,700円（第三区分）減免された。（年1回に所得の見直しがあり、区分が変更となる。）また、2024年度から新たに多子世帯の学生への支援（所得制限有り）として第四区分が設けられ、授業料から155,000円減免された。	1,2年	22
		所得により3つの区分があり、入学金がそれぞれ200,000円（第一区分）、133,400円（第二区分）、66,700円（第三区分）減免された。（年1回に所得の見直しがあり、区分が変更となる。）また、2024年度から新たに多子世帯の学生への支援（所得制限有り）として第四区分が設けられ、入学金から50,000円減免された。	1年	7

事業の概要

学生支援体制の充実とサービス・ラーニング活動の広報について

短期大学部は学生数減少に伴い2024年度入試を最後に、2025年度以降、学生募集を停止しています。

最後の在学学生たちが卒業に向け、計画的に学修を進めていくことができるよう、これまで学生一人につき1名のアドバイザー教員がいましたが、さらにきめ細かく手厚い指導を行うため、2024年度からはメインアドバイザー1名に加え2名のサブアドバイザー教員を配置しました。また、単位修得に困難さを感じる学生を支援するため、必修科目に再履修用クラスを特別に開講したり、春期休暇中には新たに集中講義を開講したりするなど、閉学に向かうという特別な事情の中で、より学生の支援体制の充実を図っています。

また、本学の特色であるサービス・ラーニング活動の一つ、外

国籍市民・児童への日本語・教科支援に焦点を置き、その活動内容や意義、関係者のコメントを掲載したブックレットを発行しました。35年以上続くサービス・ラーニング活動をより多くの人に知ってもらい、閉学後も何らかの方法で継承されていくことを願っています。

上智学院では、毎年11月1日の創立記念日に教職員に向け、創立記念行事を実施しています。そのうちの一つのプログラムとして、2024年度は短期大学部のサービス・ラーニング活動に関するプログラムを企画、運営しました。当日は上智大学からの教職員を含む61名がワークショップに参加し、広く学院内の構成員にも同活動を知ってもらう機会となりました。

栄光学園中学高等学校

主な施設等の状況

(2025年3月31日現在)

所在地	施設等	面積等		摘要
栄光学園中学高等学校 神奈川県鎌倉市玉縄	校地		113,492.00㎡	中学校・高等学校が 利用
	校舎	1棟	8,643.52㎡	
	第1体育館	1棟	2,112.61㎡	
	講堂	1棟	1,940.91㎡	
	アロイジオ館	1棟	370.63㎡	
	聖堂棟 (図書室・聖堂・小講堂)	1棟	2,838.98㎡	
	第2体育館	1棟	2,370.92㎡	
	事務所・倉庫棟	1棟	1,355.18㎡	
栄光ヒュッテ 神奈川県愛甲郡煤ヶ谷字丹沢山	用地		2,600.23㎡	
	山小屋	1棟	133.03㎡	

※複合校舎は、聖堂棟に名称を変更した

教職員数

(2024年5月1日現在)

学校区分	教員	職員	総計
栄光学園中学高等学校	80	14	94

※非常勤教職員を含む

生徒数

(2024年5月1日現在)

学校区分	入学定員	収容定員	1年在籍者数	2年在籍者数	3年在籍者数	総計	収容定員充足率
栄光学園中学校	180	540	184	181	184	549	101.67%
栄光学園高等学校	180	540	184	184	172	540	100.00%

入試状況 (2025年入学者)

(2025年3月31日現在)

学校区分	受験者	合格者	入学者
栄光学園中学校	661	244	186

卒業者数 (2025年3月)

学校区分	卒業者数
栄光学園高等学校	171

2025年3月卒業者 進路状況

(人)

学校区分	4年制大学				大学校	その他
	国公立大学	私立大学	うち上智大学	海外大学		
栄光学園高等学校	78	36	2	0	0	57

※2025年3月31日現在

2024年度事業報告(総括)

今年度の学校行事や校外での活動は概ね無事に実施することができました。5月11、12日に栄光祭(文化祭)が予定通り行われました。また、雨天のため1日順延して10月6日に行われた体育祭も、どちらも昨年度に引き続き一般に公開するコロナ禍前の形で実施することができました。

夏休みには、フィリピンのセブ島にあるイエズス会学校のセイクリッドハートスクールに10名の生徒を派遣することができ、アメリカのボストンカレッジ研修には24名の生徒が参加し、それぞれで参加した生徒は豊かな体験を得ました。また、2月の沖縄修学旅行と京都への中3学年旅行をはじめ、有志による山のキャンプほか愛の運動委員会の研修旅行や鉄道研究会の旅行等、予定された宿泊行事も全て順調に実施できました。さらに、73期生の高校卒業式においても、式後の卒業祝賀会をコロナ禍前の形(立食パーティー形式)で行うことができました。

校内で行う広報活動としては、学校説明会を10月から11月にかけて3回実施し、説明会後にキャンパス開放を行いました。また、3月30日にもキャンパス開放を試行し、11時～15時の短時間におよそ800名の方が来校していただき、グラウンドでたのしく過ごしながら校地の環境を体験していただくことができました。



国際交流セブGK



高2修学旅行



高1西表研修旅行



栄光ヒュッテ有志キャンプ

トピックス

①部活動での活躍

栄光学園の部活動は活動日が週2回と限定されていますが、それぞれの部で様々な工夫をしながら、「やるべきことを、やるべきときに」を目指した取り組みをすることで、生徒たちの成長と深く結びついています。

中学硬式テニス部では3年生の永野快君が関東大会個人戦の県予選会で第4位に入賞し関東大会に出場しました。体操部ダブルダッチ班では一般も交えた全国大会のスピード競技で全国1位となりました。また、中学英語部は7月と3月のディベートの全国大会で何れも準優勝を果たしています。

高校囲碁将棋部では3月に行われた全国大会の団体戦で5位入賞を果たしました。物理研究部員が中心の、2024年の3月に「第13回 科学の甲子園 全国大会」にて優勝したチームは、2024年5月に米国で行われたScience Olympiadに日本代表として派遣され、全米の高校生と交流し、よい成績を収めています。高校陸上部では1年生の稲森大彦君が1500m県予選会で決勝8位に入賞し、関東大会へ進出しました。野球部は中学で県大会に進出し2回戦まで進む活躍を見せましたが、高校では秋の県大会で準優勝を果たし、関東大



作新2点目藤井生選

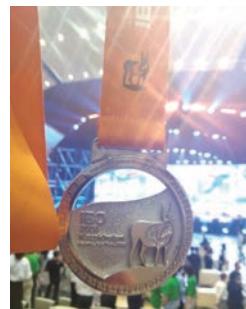
会でも準優勝を遂げました。

②科学オリンピックでの活躍

高校3年生の金は佑君は、イギリスで行われた第65回国際数学オリンピックに日本代表の一人として参加し、金メダルを受賞しました。代表選考合宿には日本中から25名が集まるのですが、選考試験の合宿といっても、彼からの報告によると、意外に明るく、大学生や大学院生のチューターも多数参加するので数学の話題で盛り上がり、ゲームをしたりするのだそうです。

同じく高校3年生の大沼拓実君は、サウジアラビアで行われた第56回国際化学オリンピックに日本代表の一人として参加し、こちらも金メダルを受賞しました。大会の運営サイドや現地の時間にルーズな対応にかなり手を焼きながら、次第に慣れていったそうです。

高校2年生の永田駿平君は、カザフスタンで行われた第35回国際生物学オリンピックに日本代表の一人として参加し、銀メダルを受賞しました。彼は競技科学に参加することで、中2の冬から生物学の勉強を進めて、独学で勉強を進める経験ができて、研究の面白さも分かったと振り返っています。



国際生物学オリンピック銀メダル

六甲学院中学校・高等学校

■ 主な施設等の状況

(2025年3月31日現在)

所在地	施設等	面積等		摘要
六甲学院中学校・高等学校 兵庫県神戸市灘区篠原伯母野山町	校地		73,353.00㎡	中学校・高等学校が利用
	校舎（本館）	1棟	11,393.92㎡	
	校舎（別館）	2棟	1,779.65㎡	
	体育館・講堂棟	1棟	5,943.10㎡	
	プール・剣道場	1棟	2,094.79㎡	
	第3グラウンド体育棟	1棟	84.37㎡	
	部室・弓道場	1棟	442.83㎡	
兵庫県神戸市灘区篠原字仲山	用地		934.00㎡	
兵庫県神戸市灘区篠原字谷山	用地		9,609.00㎡	
兵庫県神戸市灘区篠原北町	校地		654.00㎡	
	研修所	1棟	482.62㎡	
富山県中新川郡立山町 (弥陀ヶ原)	用地		485.00㎡	
	合宿所	1棟	244.62㎡	

■ 教職員数

(2024年5月1日現在)

学校区分	教員	職員	総計
六甲学院中学校・高等学校	70	23	93

※非常勤教職員を含む

■ 生徒数

(2024年5月1日現在)

学校区分	入学定員	収容定員	1年在籍者数	2年在籍者数	3年在籍者数	総計	収容定員充足率
六甲学院中学校	184	552	188	184	184	556	100.72%
六甲学院高等学校	184	552	175	167	175	517	93.66%

■ 入試状況（2025年入学者）

(2025年3月31日現在)

学校区分	受験者	合格者	入学者
六甲学院中学校	576	329	193

■ 卒業者数（2025年3月）

学校区分	卒業者数
六甲学院高等学校	173

■ 2025年3月卒業者 進路状況

(人)

学校区分	4年制大学				大学校	その他
	国公立大学	私立大学	うち上智大学	海外大学		
六甲学院高等学校	84	26	3	0	0	63

※2025年3月31日現在

2024年度事業報告(総括)

今年度もコロナ禍前の行事を滞りなく行いました。高2シンガポール研修旅行、体育祭、中1前島キャンプ、中3立山キャンプ、インド訪問、文化祭、芸術鑑賞会、強歩大会、中2東北研修旅行を、大きな事故や怪我もなく実施することができました。

体育祭では昨年に引き続き、上半身裸になることの希望調査を行った上で、各個人の意思を尊重した形で総行進を実施しました。多様性に配慮した考えが生徒の間にも定着しつつあるように感じます。文化祭では、初めてキッチンカーを導入しました。以前は高1のクラブの生徒中心に5軒ほどの模擬店で飲食の提供を行っていましたが、生徒と教員の負担軽減と安全面の

観点から、キッチンカーを導入しました。10数台の色とりどりのキッチンカーが軒を並べてたいへんな賑わいとなりました。

また、6年間中断していたインド訪問を再開しました。インド政府は国内からハンセン病は根絶されたと発表していますが、実際にはまだ多くの患者があり、その家族はいまだに偏見と無理解のために苦しんでいます。そのような子どもたちを預かるインド・ダンバードの支援施設に、本校から毎年募金を届けています。生徒達も実際に現場の人たちと交流して、インド募金の本来の目的を思い出すよい機会になったと思います。

トピックス

①インド訪問

自身の価値観を様々な場面で揺さぶられた9日間でした。インド募金はダミアン社会福祉センターで、社会的に小さくされた人々のために使われ、たくさんの笑顔を作り出していることが生徒達にはよく伝わったと思います。彼ら彼女らは、私たちとは比べ物にならない境遇の中で生きているにも関わらず、愛され大切にされ、生き生きと輝く目で世界を見ていました。翻って私たちはどうでしょうか。生き生きと学べているでしょうか。日本で生まれた私たちは恵まれている、そのありがたさを忘れてはいけません。マザー・テレサは「愛の反対は憎しみではなく、無関心です」と言いました。無関心=見て見ぬふりをするのは容易いことです。受け身でただ知るだけでなく、共感したことに対して行動することに意味があるのではないのでしょうか。六甲生がインド募金で行う“相手を思いやる行動”は、確実に“愛”です。私たちはそのような社会のリーダーになる“愛”を持った人間を育てているのだと改めて実感しました。



ダミアン社会福祉センター老人の家に訪問

②中2東北研修旅行

最初の二日間は、南三陸や気仙沼を訪れ、震災学習や防災学

習を行いました。南三陸の伝承館では、リズム感の良い語り口の語り部さんに案内していただきました。最初は緊張していた生徒たちも、クイズを交えた説明のおかげで和やかな雰囲気です話を聞く姿が見られました。しかし、屋上に上がり、語り部さんが指をさして「そこに私たちの家がありました」「家族も流されました」と話された瞬間、生徒たちは言葉を失い、ただ立ち尽くしていました。これまで防災センターや学校で震災学習を行ってきましたが、このときの生徒たちの表情を見て、これまでの学びとは比べものにならないほど心を動かされたのだと感じました。その後、生徒たちは明らかに姿勢を変え、語り部さんの目をしっかり見つめながら説明を聞いていました。

「大切な人や自分を守るために今できることをする。」

この言葉は決して知らないものではなかったはずですが。震災の教訓や防災の知識は、今やPCやスマホで簡単に調べることができます。しかし、本当に大切なのは「何を学ぶか」ではなく、「誰から学ぶか」なのだ、今回の経験を通じて強く実感しました。東北へ行き、あの語り部さんから直接大切な言葉を聞くことができたことに、心から感謝しています。



体験談を聞く震災学習

広島学院中学校・高等学校

■ 主な施設等の状況

(2025年3月31日現在)

所在地	施設等	面積等		摘要
広島学院中学校・高等学校 広島県広島市西区古江上	校地		47,389.69㎡	中学校・ 高等学校が 利用
	本館校舎	1棟	6,075.37㎡	
	西館校舎	1棟	3,317.29㎡	
	理科棟	1棟	910.67㎡	
	講堂(体育館)	1棟	1,570.65㎡	
	ザビエル体育館	1棟	2,286.93㎡	
	ペドロ・アルベ講堂	1棟	3,024.46㎡	
	アシジの聖フランシスコ聖堂	1棟	232.51㎡	
	工作室	1棟	94.90㎡	
	クラブハウス	2棟	279.83㎡	
	倉庫(下グラウンド)	2棟	162.48㎡	
広島県廿日市市飯山字天徳	用地		12,159.00㎡	
	キャンプハウス	11棟	477.42㎡	

■ 教職員数

(2024年5月1日現在)

学校区分	教員	職員	総計
広島学院中学校・高等学校	63	12	75

※非常勤教職員を含む

■ 生徒数

(2024年5月1日現在)

学校区分	入学定員	収容定員	1年在籍者数	2年在籍者数	3年在籍者数	総計	収容定員充足率
広島学院中学校	184	552	183	187	191	561	101.63%
広島学院高等学校	184	552	182	179	186	547	99.09%

■ 入試状況(2025年入学者)

(2025年3月31日現在)

学校区分	受験者	合格者	入学者
広島学院中学校	557	283	190

■ 卒業者数(2025年3月)

学校区分	卒業者数
広島学院高等学校	184

■ 2025年3月卒業者 進路状況

(人)

学校区分	4年制大学				大学校	その他
	国公立大学	私立大学	うち上智大学	海外大学		
広島学院高等学校	75	37	6	1	1	70

※2025年3月31日現在

2024年度事業報告(総括)

① イエズ会司祭、6年ぶりに本校に赴任

2018年の牛尾幸生神父ご帰天以来、6年間、本校はイエズ会司祭不在の状態が続きましたが、越智直樹神父が2024年4月、本校にチャブレンとして赴任しました。神父様が日常にいて下さる、大きな安心感のある1年となりました。主な学校行事を以下の通り、実施しました。

7/21	スクールガイダンス
7/21～23	中一ツネシキャンプ
7/29～31	中二牛窓キャンプ
9/28	体育祭
11/3～4	文化祭
12/14～15	中三街頭募金
12/24	クリスマス会
3/24～27	高二修学旅行 沖縄

3/24～27 中三修学旅行 長崎

8/7～20 フィリピン研修

12/23～30 カンボジア研修

3/26～4/3 アメリカ研修

② roomWの定着

2023年度に試験運用されていたroomWを本格導入しました。Wはwithの頭文字で、保健室登校を続ける生徒が普通教室で生活できる前段階の部屋として、設置しました。この部屋には本校を退職した元専任教員が当番制で常駐し、個別の質問にも対応できる体制を整えています。複雑な現代社会にあって、学校で居場所を見つけることが難しい生徒も一定数在籍しています。彼らが安心して登校し、自分のペースで学びを進めることが出来る環境を徐々に整えています。

トピックス

① ベラミン高校の受け入れ開始

2024年10月27日から11月3日の1週間、アメリカからベラミン高校の生徒16名と教員4名の計20名が広島学院に来校し、共に学校生活を送りました。ベラミン高校はカリフォルニア州サンノゼ市にあるイエズ会の男子校で、過去に本校の理科設備に多大な寄付をしてくださった学校です。2024年3月に実施された第2回アメリカ・カリフォルニア研修では、本校の生徒はベラミン高校の生徒宅でのホームステイを経験しベラミン高校の授業にも参加しました。そして、今回は初めてベラミン高校の生徒を受け入れることになりました。登校初日には、広島学院とベラミン高校の友情の証として、正門近くにアーモンドの木を植樹しました。ベラミン高校の生徒は、一緒に授業や部活動に参加したり、平和記念公園と宮島への散策をしたり、文化祭にも参加したりしました。最終日、帰国のために学校を出発するときには多くの方々が集まり、別れを惜しまました。ベラミン高校の生徒、ホストファミリーを引き受けてくれた生徒と保護者が涙を流している姿を見て、このプログラムを今後も続けていきたいと強く感じました。またいつの日か、再会の日が来ることを願っています。



② ブラザー・マヌエル・ロサド 退職

2月2日、スペイン出身のブラザー・マヌエル・ロサドが85歳の誕生日を迎えました。広島学院の裏山に位置する「木工室」では、ブラザー・ロサドが50年以上にわたり、学校の備品を手作りしてきました。

ブラザー・ロサドは家具職人の資格を持ち、教卓や本棚、生徒用のハンガーなどを制作することで、生徒たちの学校生活を支えてきました。毎年、新入生約190人には、ブラザー・ロサドから一つ一つ丁寧に仕上げた木製ハンガーが贈られ、生徒たちはこのハンガーを卒業までの6年間大切に使い続けてきました。そのほか、聖堂の祭壇、朗読台、講堂の演台、各クラスの机、下駄箱、職員室カウンター…。ブラザー・ロサドが作ってくれた学校備品は数え切れません。ブラザー・ロサドは、「他者のために生きる」を体現する存在として、生徒や教職員にとって大きな支えですが、3月末日をもって、勇退することになりました。「人生の多く(57年間)を学院で過ごせてよかった」と語るブラザー・ロサド。ブラザー・ロサドの長年の貢献に、心から感謝します。



上智福岡中学高等学校

■ 主な施設等の状況

(2025年3月31日現在)

所在地	施設等	面積等		摘要
上智福岡中学高等学校 福岡県福岡市中央区輝国	校地		53,761.68㎡	中学校・ 高等学校が 利用
	中学棟	1棟	2,182.24㎡	
	体育館	1棟	2,711.00㎡	
	用務員居宅	1棟	80.32㎡	
	高校棟	1棟	2,329.00㎡	
	特別教室棟	1棟	3,290.32㎡	
	プレハブ倉庫	1棟	210.50㎡	
	クラブハウス	1棟	277.16㎡	
	中央棟	1棟	2,492.51㎡	
	昇降口 (中学)	1棟	79.75㎡	
	昇降口 (高校)	1棟	73.15㎡	
	守衛室	1棟	4.32㎡	
	聖堂棟	1棟	359.35㎡	

■ 教職員数

(2024年5月1日現在)

学校区分	教員	職員	総計
上智福岡中学高等学校	67	12	79

※非常勤教職員を含む

■ 生徒数

(2024年5月1日現在)

学校区分	入学定員	収容定員	1年在籍者数	2年在籍者数	3年在籍者数	総計	収容定員充足率
上智福岡中学校	160	480	163 (79)	175 (87)	163 (81)	501 (247)	104.38%
上智福岡高等学校	160	480	169 (83)	181 (69)	155 (89)	505 (241)	105.21%

※() 内は女子生徒数

■ 入試状況 (2025年入学者)

(2025年3月31日現在)

学校区分	受験者	合格者	入学者
上智福岡中学校	864 (423)	497 (242)	146 (71)

※() 内は女子生徒数

■ 卒業者数 (2025年3月)

学校区分	卒業者数
上智福岡高等学校	154 (88)

※() 内は女子生徒数

■ 2025年3月卒業者 進路状況

(人)

学校区分	4年制大学				大学校	その他
	国公立大学	私立大学	うち上智大学	海外大学		
上智福岡高等学校	18	86	25	1	0	49

※2025年3月31日現在

2024年度事業報告（総括）

2024年度は、予定していた行事を滞りなく行うことができました。入学後の中学1年生を対象にしたオリエンテーション合宿や中学2年生の夏のサマーキャンプは予定通り実施しました。6月に行われた体育祭は、一人でも多くの方に観覧していただけるように、応援合戦以外の種目は時間をずらして中学生、高校生別に実施しました。10月に行われた文化祭は、途中、雨に見舞われましたが、多くの方にご来場いただきました。いずれの行事も多くの方の前で日頃の成果を発表できたことは、生徒の大きな成長につながりました。中学3年生の語学研修は昨年、フィリピンのセブ島で実施しましたが、飛行機の乗り継ぎ等を考慮

して、マニラに変更しました。様々なプログラムを通して、英語力はもちろんのこと、現地の人々の生活にも触れることができ、とても考えさせられる研修となりました。高校2年生は、中学3年時にコロナ禍の影響で海外への語学研修が実施できなかったため、従来の国内研修を変更して、韓国の釜山へ行きました。現地の高校生との交流や、観光を通して、韓国の文化に触れることができたのは、生徒にとって、とても貴重な体験となりました。その他、希望者を対象にしたカンボジアスタディツアー、ISLF、野宿者の方へのボランティア活動等を通して、生徒は「人間力」を高めることができました。

トピックス

①釜山修学旅行

高校2年生は、3泊4日の日程で韓国の釜山を訪れました。地理的に福岡から近い場所ですが、異文化に触れる貴重な機会となりました。

1日目は、釜山の代表的な市場であるチャガルチ市場と国際市場を訪れました。市場の賑やかな雰囲気の中で、韓国の食文化に触れることができました。多様な食材や料理が並ぶ様子は、異国の文化を直に感じる経験となりました。



2日目の午前中には、現地の「釜山国際高校」を訪問し、学校交流会を行いました。生徒たちは英語で、自国の文化や学校生活についてのプレゼンテーションを行い、互いの文化の違いや共通点を学びました。特に、釜山国際高校の生徒たちの高い英語力には本校の生徒たちも刺激を受けており、また、現在も何名かの生徒が連絡を取り合っているようで、プログラムは非常に有意義なものとなりました。午後には、班に分かれ現地の大学生と共に街歩きを行い、韓国の若者文化を直接体験しました。

3日目は、龍宮寺を訪れ、韓国の仏教文化に触れました。その後、ヨット体験や水族館などの選択制のフィールドワークに参加し、それぞれの興味関心に応じた活動を楽しみました。

最終日には、釜山の象徴的な観光地である甘川文化村を訪れました。迷路のように入り組ん

だカラフルな街並みを散策し、地域の歴史やアート文化に触れることができました。

今回の修学旅行の目的は、「現代の韓国の文化や生活を知る」というものでした。現地学生との交流をはじめとした様々なプログラムを通じて韓国の文化や人々の生活に直接触れることができたことは、生徒にとって大きな学びとなったようで、この修学旅行は大変意義深いものでありました。

②地域共創企画

本校では、地域を明るくしたいという思いの中で、地域共創に力をいれ、「花」に注目して様々な活動を行ってきました。花や緑で企業や行政とタイアップして活動を行っています。

一つ目はJA八女から花を譲り受け、それをアレンジしたものを文化祭等でお渡しするという企画です。イベントなどで使用されることの多い、花を生活の一部に感じていただき、笑顔であふれさせたいと活動を行いました。

二つ目の企画は花壇作りです。学校に隣接する福岡市動植物園と話し合い、植物園敷地内に新しく花壇を増設しました。花壇は生徒がデザインし、苗を植えるところから完成まで花壇の設置に携わりました。この花壇の水やりや花摘み等の管理も生徒と行政と企業が連携して行っています。また福岡市の春に行われるフラワーフェスティバルにも花壇作りで、参加させていただくことができ、市長から表彰を受けました。

なお、これら2つの活動は現在も本校生徒を中心に継続して行われています。



上智学院の財務諸表をご案内する前に学校法人会計の特殊性と、株式会社で適用されている企業会計との違いについてご説明いたします。

学校法人会計基準について

1. 学校法人会計基準とは

学校法人は、目的とする教育研究活動を行うにあたって必要な施設や設備、経営に必要な財産を持つために、自ら調達した資金の他に国または地方公共団体から経常費の補助を受けています。当該補助金の交付を受けている学校法人は、私立学校振興助成法の定めにより、一定の会計ルールに則った会計処理と計算書を作成し、公認会計士または監査法人による監査を受けて、所轄庁に届け出ることが義務付けられています。この一定の会計ルールが「学校法人会計基準」となります。

2. 企業会計との違い

企業は利益の追求を目的としていることから、企業会計は資本の投下・回収という営利活動の成果と財政状態を利害関係者に開示することを目的としています。

一方、学校法人は教育研究活動という極めて公共性の高い事業を遂行することを目的としており、この教育研究活動を円滑に遂行するために、財政の安定と持続性を保つことが求められています。そのため学校法人会計は、企業会計のような「損益」の開示ではなく、今後の活動を継続的且つ安定的に遂行するため、収支の均衡の状況と財政の状態を正確に捉えることを目的としています。

3. 計算書について

上記の目的のため、「学校法人会計基準」に基づき、「資金収支計算書」、「事業活動収支計算書」、「貸借対照表」の作成が義務付けられています。

(1) 資金収支計算書

当該会計年度に行った諸活動に対応する全ての資金の動きを記録することによって、当該年度の収入と支出の内容を明らかにすると共に、支払資金（現預金）の顛末を示すものです。

(2) 事業活動収支計算書

当該会計年度の事業活動ごとの収支の内容と均衡状態を明確にし、経営状況を表すものです。

学校法人の活動を①教育活動 ②教育活動以外の経常的な活動 ③それ以外の活動（特別収支）に分けて、それぞれの収支差額を計算しています。

その合計を、「基本金組入前当年度収支差額」として明記し、そこから基本金組入額を控除したものが当年度収支差額となります。

収支の均衡の状態は、「当年度収支差額」で判断します。一般的に学校法人会計では収支が均衡していることを理想としています。

<基本金とは>

学校法人が諸活動の計画に基づき、教育研究の維持・充実に必要な資産を継続的に保持するための金額であり、以下のとおり、第1号基本金から第4号基本金まであります。

- ・第1号基本金…設立や規模の拡大若しくは教育の充実向上のために取得した固定資産の額
- ・第2号基本金…将来取得する固定資産に充てる金銭その他の資産の額
- ・第3号基本金…基金として継続的に保持し、運用する金銭その他の資産の額
※基金の元本から生じる果実は教育研究活動に使用されます。
- ・第4号基本金…恒常的に保持すべき資金
※円滑な運営に必要な運転資金を常時保持するため、一定額の資金を基本金とします。

(3) 貸借対照表

期末（年度末）における資産・負債・純資産（基本金及び収支差額）を表記し、財政状態を明らかにして健全性・安定性を示すものです。

2024年度決算の概要

(1) 事業活動収支計算書

(単位：百万円)

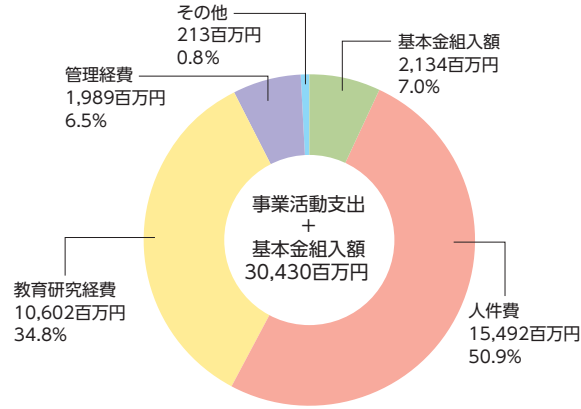
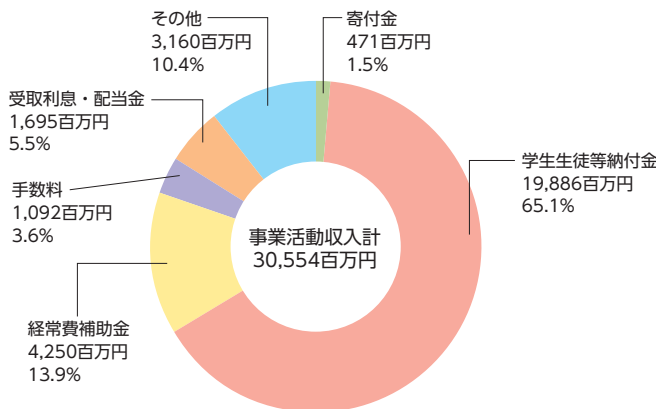
科目	決算	予算	差異 (決算-予算)
学生生徒等納付金	19,886	19,854	32
手数料	1,092	984	108
寄付金	471	720	△ 249
経常費等補助金	4,250	4,107	143
付随事業収入	808	755	53
雑収入	1,146	965	181
教育活動収入計	27,654	27,385	269
人件費	15,492	15,803	△ 311
教育研究経費	10,602	10,522	80
管理経費	1,989	1,951	38
教育活動支出計	28,083	28,276	△ 194
教育活動収支差額	△ 429	△ 892	463
受取利息・配当金	1,695	734	961
その他の教育活動外収入	450	450	0
教育活動外収入計	2,145	1,184	961
借入金等利息他	71	76	△ 5
その他の教育活動外支出	3	0	3
教育活動外支出計	74	76	△ 2
教育活動外収支差額	2,071	1,108	963
経常収支差額	1,642	217	1,426

科目	決算	予算	差異 (決算-予算)
資産売却差額	319	0	319
その他の特別収入	437	173	264
特別収入計	756	173	583
資産処分差額	125	229	△ 105
その他の特別支出	14	0	14
特別支出計	139	229	△ 90
特別収支差額	616	△ 57	673
予備費		(225)	0
基本金組入前当年度収支差額	2,258	160	2,099
基本金組入額合計	△ 2,134	△ 2,279	145
当年度収支差額	124	△ 2,119	2,243
前年度繰越収支差額	△ 10,974	△ 10,974	0
基本金取崩額	622	0	622
翌年度繰越収支差額	△ 10,228	△ 13,093	2,865

(参考)

事業活動収入計	30,554	28,741	1,813
事業活動支出計	28,296	28,582	△ 286

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。
 ※予備費の上段()内は使用額、下段は残高です。使用額は使用した科目の予算額に加算されています。



概要

2024年度の事業活動収支決算は、基本金組入前当年度収支差額が予算比2,099百万円増加し、基本金組入額は予算比145百万円減少したため、当年度収支差額は予算比2,243百万円増加しました。

また、教育活動収支では、手数料や経常費等補助金が増加した結果、収支差額は△429百万円となり、予算比463百万円の増加となりました。教育活動外収支では、受取利息・配当金の増加により収支差額が2,071百万円となり、予算比963百万円の増加となりました。特別収支では、特別収入が有価証券売却差額の発生等により583百万円増加する一方、特別支出が90百万円減少したことにより、収支差額は予算比673百万円増加し616百万円となりました。

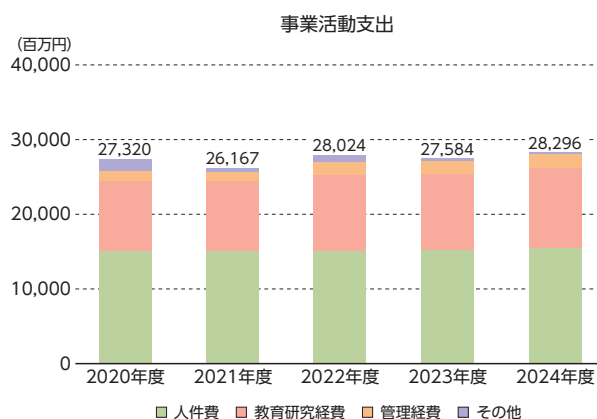
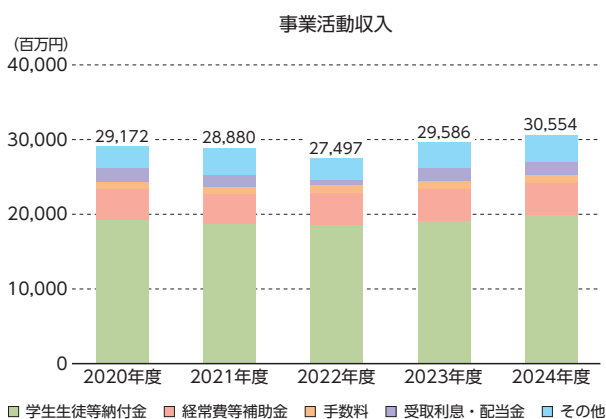
財務の概要

過去5年間の推移

(単位：百万円)

科目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
学生生徒等納付金	19,220	18,712	18,587	19,087	19,886
手数料	1,048	902	974	1,051	1,092
寄付金	705	908	516	575	471
経常費等補助金	4,086	4,006	4,248	4,280	4,250
付随事業収入	668	640	725	836	808
雑収入	994	1,172	1,081	1,113	1,146
教育活動収入計	26,721	26,340	26,131	26,941	27,654
人件費	15,063	15,150	15,213	15,442	15,492
教育研究経費	9,341	9,031	10,064	9,970	10,602
管理経費	1,458	1,549	1,833	1,907	1,989
徴収不能額等	0	0	0	0	0
教育活動支出計	25,862	25,730	27,109	27,319	28,083
教育活動収支差額	859	610	△ 978	△ 378	△ 429
受取利息・配当金	1,759	1,657	678	1,745	1,695
その他の教育活動外収入	459	485	461	471	450
教育活動外収入計	2,218	2,142	1,140	2,216	2,145
借入金等利息	131	115	98	82	71
その他の教育活動外支出	0	0	0	0	3
教育活動外支出計	131	115	98	82	74
教育活動外収支差額	2,087	2,027	1,041	2,133	2,071
経常収支差額	2,946	2,637	63	1,755	1,642
資産売却差額	0	97	95	118	319
その他の特別収入	233	301	131	311	437
特別収入計	233	398	225	429	756
資産処分差額	506	320	813	132	125
その他の特別支出	821	2	4	51	14
特別支出計	1,327	322	817	182	139
特別収支差額	△ 1,094	76	△ 591	247	616
基本金組入前当年度収支差額	1,852	2,713	△ 528	2,002	2,258
基本金組入額合計	△ 958	△ 2,336	△ 2,933	△ 1,853	△ 2,134
当年度収支差額	894	377	△ 3,460	149	124
前年度繰越収支差額	△ 10,116	△ 8,571	△ 8,123	△ 11,328	△ 10,974
基本金取崩額	650	71	256	204	622
翌年度繰越収支差額	△ 8,572	△ 8,123	△ 11,328	△ 10,974	△ 10,228
(参考)					
事業活動収入計	29,172	28,880	27,497	29,586	30,554
事業活動支出計	27,320	26,167	28,024	27,584	28,296

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。



(2) 資金収支計算書

(単位：百万円)

収入の部				支出の部			
科目	決算	予算	差異 (決算-予算)	科目	決算	予算	差異 (決算-予算)
学生生徒等納付金収入	19,886	19,854	32	人件費支出	15,549	15,871	△ 322
手数料収入	1,092	984	108	教育研究経費支出	8,181	8,025	156
寄付金収入	712	773	△ 61	管理経費支出	1,705	1,741	△ 35
補助金収入	4,295	4,143	152	借入金等利息支出	71	76	△ 5
資産売却収入	4,875	2,950	1,925	借入金等返済支出	888	965	△ 77
付随事業・収益事業収入	1,258	1,205	53	施設関係支出	811	1,709	△ 898
受取利息・配当金収入	1,695	734	961	設備関係支出	1,400	1,584	△ 184
雑収入	1,151	965	186	資産運用支出	11,130	7,849	3,281
借入金等収入	0	0	0	その他の支出	1,503	507	996
前受金収入	4,382	4,533	△ 151	予備費		(226)	
その他の収入	7,674	6,712	962			0	0
資金収入調整勘定	△ 5,656	△ 5,027	△ 629	資金支出調整勘定	△ 661	△ 491	△ 169
前年度繰越支払資金	9,803	9,803		翌年度繰越支払資金	10,589	9,793	796
収入の部合計	51,167	47,629	3,538	支出の部合計	51,167	47,629	3,538

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。
 ※予備費の上段（ ）内は使用額、下段は残高です。使用額は使用した科目の予算額に加算されています。

概要

2024年度の資金収支の規模は、51,167百万円で予算比3,538百万円の増加となりました。資金収入では、資産売却収入と受取利息・配当金収入が合計で予算比2,886百万円増加し、資金支出では、資産運用支出が予算比3,281百万円増加しました。これらの結果、翌年度繰越支払資金は前年度比786百万円増加し、予算比796百万円の増加となりました。

過去5年間の推移

収入の部 (単位：百万円)

科目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
学生生徒等納付金収入	19,220	18,712	18,587	19,087	19,886
手数料収入	1,048	902	974	1,051	1,092
寄付金収入	782	989	571	681	712
補助金収入	4,143	4,139	4,261	4,336	4,295
資産売却収入	2,630	3,300	2,558	4,448	4,875
付随事業・収益事業収入	1,119	1,090	1,175	1,286	1,258
受取利息・配当金収入	1,759	1,657	678	1,745	1,695
雑収入	1,000	1,206	1,092	1,138	1,151
借入金等収入	500	0	0	0	0
前受金収入	4,001	4,139	4,541	4,499	4,382
その他の収入	7,123	9,282	7,566	6,858	7,674
資金収入調整勘定	△ 5,056	△ 4,741	△ 4,740	△ 5,113	△ 5,656
前年度繰越支払資金	9,284	9,468	8,540	9,778	9,803
収入の部合計	47,553	50,143	45,804	49,794	51,167

支出の部 (単位：百万円)

科目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
人件費支出	14,900	15,230	15,259	15,486	15,549
教育研究経費支出	6,521	6,391	7,477	7,459	8,181
管理経費支出	1,217	1,289	1,586	1,655	1,705
借入金等利息支出	131	115	98	82	71
借入金等返済支出	1,206	1,315	1,205	993	888
施設関係支出	895	599	689	330	811
設備関係支出	941	865	603	950	1,400
資産運用支出	11,994	13,925	8,662	13,547	11,130
その他の支出	806	2,361	953	860	1,503
資金支出調整勘定	△ 527	△ 487	△ 505	△ 1,372	△ 661
翌年度繰越支払資金	9,469	8,540	9,778	9,803	10,589
支出の部合計	47,553	50,143	45,804	49,794	51,167

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

過去5年間の推移

資産の部

(単位：百万円)

科目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
固定資産	154,456	156,619	153,851	155,300	154,111
流動資産	10,336	9,628	10,616	10,915	12,748
資産の部の合計	164,792	166,247	164,467	166,215	166,860

負債及び純資産の部

(単位：百万円)

科目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
固定負債	18,483	17,046	15,907	14,942	13,922
流動負債	6,688	6,865	6,753	7,463	6,870
負債の部合計	25,171	23,912	22,660	22,406	20,792
基本金	148,193	150,458	153,135	154,783	156,296
第1号基本金	129,880	131,855	132,485	133,884	135,997
第2号基本金	2,507	2,496	2,213	2,144	1,289
第3号基本金	13,932	14,233	16,563	16,882	17,136
第4号基本金	1,874	1,874	1,874	1,874	1,874
翌年度繰越収支差額	△ 8,572	△ 8,123	△ 11,328	△ 10,974	△ 10,228
純資産の部合計	139,621	142,335	141,807	143,809	146,068
負債及び純資産の部合計	164,792	166,247	164,467	166,215	166,860

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

貸借対照表



2024年度特別予算執行報告

(単位：百万円)

区 分	企画概要	予算執行額
ICT整備関係	情報基盤整備事業	570
	教育基盤整備事業	321
	視聴覚基盤整備事業	257
	その他	171
キャンパス計画関係	7号館改修	437
	インクルーシブトイレ新設	40
	その他	10
施設等修繕	13号館空調機更新工事	117
	13号館設備更新工事	41
	その他	158
研究推進・支援関係	QS Academic Reputation Trackerの導入	3
	特色ある研究強化促進	2
	その他	82
一般広報関係	動画コンテンツ制作とターゲット型広告連動施策	27
	本学のブランド力向上を目的としたエリアプロモーション	26
	その他	27
図書・図書資料取得	中央図書館 図書費・図書資料費	55
一般運営費	定型業務の集約化等に向けた業務分析	35
	クライシス対応メディアトレーニング	4
	その他	8
施設等維持管理関係	食堂販売機更新	26
	秦野キャンパス他 敷地測量・境界確定業務	10
	その他	7
教育関係	理工学部入学定員増に伴う学生実験設備の補充（物質生命理工学科）	4
	学生証ICカード化	3
	その他	24
グローバル化推進	IAU conference 2024	10
	IAJU国際教育会議	8
	その他	7
公開講座関係	地球市民講座の開設	17
	国際公務員、国際協力に関する公開講座	5
	その他	1
入試・入学手続関係	ORPHIS導入	5
	その他	6
図書管理維持関係	目白聖母キャンパス図書室入退館システムリプレイス	7
	中央図書館什器更新	3
ステークホルダー連携	上智学院メモリアルノート作成	7
	SOPHIA未来募金WEBサイトコンテンツ制作	1
学生生徒募集関係	応用データサイエンス学位プログラムパンフレット作成	2
	グローバル社会専攻紹介動画作成	2
	その他	3
合 計		2,549

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

財務比率の推移

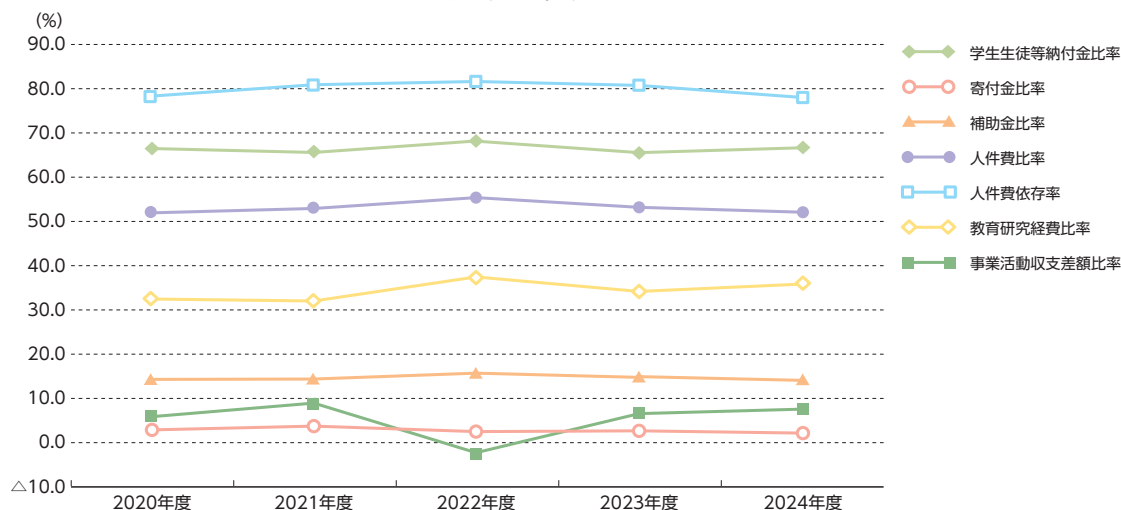
(1) 事業活動収支計算関連比率の推移

(単位：%)

財務比率	算式 (×100)	評価 (注1)	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	—	66.4	65.7	68.2	65.5	66.7
寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	△	3.0	3.7	2.3	2.8	2.6
経常寄付金比率	$\frac{\text{教育活動収入の寄付金}}{\text{経常収入}}$	△	2.4	3.2	1.9	2.0	1.6
補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	△	14.2	14.3	15.5	14.7	14.1
経常補助金比率	$\frac{\text{教育活動収入の補助金}}{\text{経常収入}}$	△	14.1	14.1	15.6	14.7	14.3
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	▼	52.1	53.2	55.8	53.0	52.0
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	▼	78.4	81.0	81.8	80.9	77.9
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	△	32.3	31.7	36.9	34.2	35.6
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	▼	5.0	5.4	6.7	6.5	6.7
借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	▼	0.5	0.4	0.4	0.3	0.2
基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	△	3.3	8.1	10.7	6.3	7.0
基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}-\text{基本金組入額}}$	▼	96.8	98.6	114.1	99.5	99.6
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	△	10.2	9.3	0.2	6.0	5.5
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	△	6.3	9.4	△ 1.9	6.8	7.4

注1：評価 △：高い値が良い ▼：低い値が良い —：どちらともいえない

主たる比率の推移



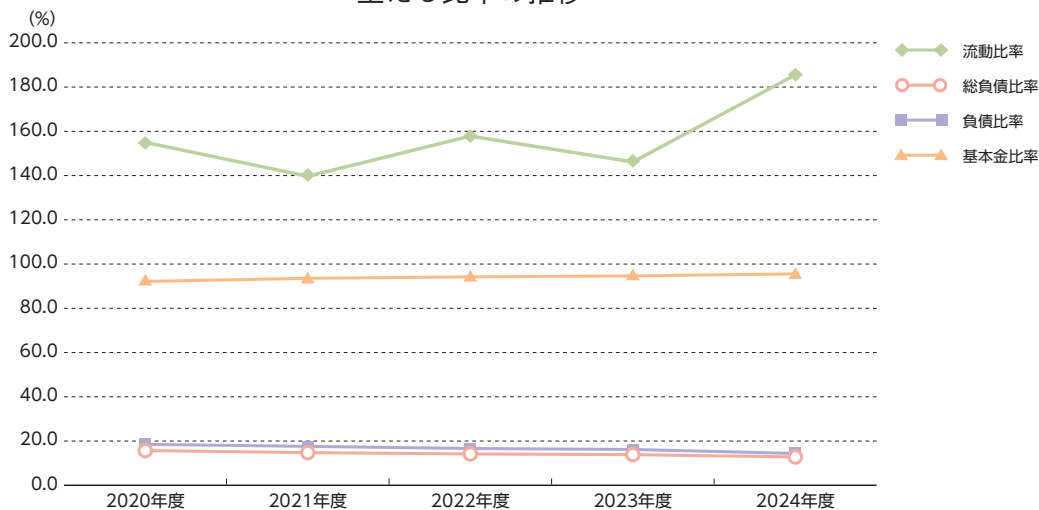
(2) 貸借対照表関連比率の推移

(単位：%)

財務比率	算式 (×100)	評価 (注1)	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	▼	93.7	94.2	93.5	93.4	92.4
流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	△	6.3	5.8	6.5	6.6	7.6
固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債+純資産}}$	▼	11.2	10.3	9.7	9.0	8.3
流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{負債+純資産}}$	▼	4.1	4.1	4.1	4.5	4.1
純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{負債+純資産}}$	△	84.7	85.6	86.2	86.5	87.5
繰越収支差額構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{負債+純資産}}$	△	△ 5.2	△ 4.9	△ 6.9	△ 6.6	△ 6.1
固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	▼	110.6	110.0	108.5	108.0	105.5
固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産+固定負債}}$	▼	97.7	98.3	97.6	97.8	96.3
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	△	154.5	140.2	157.2	146.3	185.6
総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	▼	15.3	14.4	13.8	13.5	12.5
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	▼	18.0	16.8	16.0	15.6	14.2
運用資産余裕比率	$\frac{\text{運用資産-外部負債}}{\text{経常支出}}$	△	200.4	217.8	215.8	225.8	224.7
前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	△	236.0	206.4	218.6	217.8	241.6
積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	△	90.5	91.3	88.0	89.3	88.5
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	△	92.3	93.2	94.0	94.6	95.2

注1：評価 △：高い値が良い ▼：低い値が良い -：どちらともいえない

主たる比率の推移



資産運用の状況

2024年度は、国内株式が8月に史上最大の暴落を記録するなど値動きの激しい展開が続き、通期では国内外債券・国内株式いずれの市場指数もマイナスのリターンで着地するなど総じて厳しい資産運用環境となりました。米国ではインフレの鈍化を受けて、FRBが年後半にかけて複数回の利下げを実施し、生成AI関連銘柄を中心に株価が上昇しました。しかし、2025年1月に再就任したトランプ大統領による追加関税の発動と政府支出削減策を受けて景気減速懸念が強まり、年度末にかけて世界株式市場は調整局面に入りました。

こうした環境下、上智学院では収益性と安全性のバランスに配慮した分散投資を徹底し、安定的な収入の確保に努めました。為替ヘッジコストの高止まりを踏まえ、為替ヘッジ付外債の期待リターンは限定的と判断し、計画通り比率を削減。一方で、利回りが良好な水準まで上昇したオープン外債については、為替水準を考慮しつつウエイトを引き上げました。株式については高値追いを避け、調整局面での買い増しを基本方針としました。

年度末にはトランプ大統領の追加関税を巡る発言により株価が下落したものの、その前に株式で約9億円、低流動性資産で約6.5億円の実現益を確保。また、インハウス運用によるオープン外債や、伝統資産との相関が低い低流動性資産からも安定的なインカム収入を得ることができました。その結果、2024年度の資産運用収益は20億10百万円となり、内訳は受取利息・配当金が16億95百万円、有価証券売却差益が3億19百万円、有価証券処分差額が△1百万円、為替差損益が△3百万円でした。

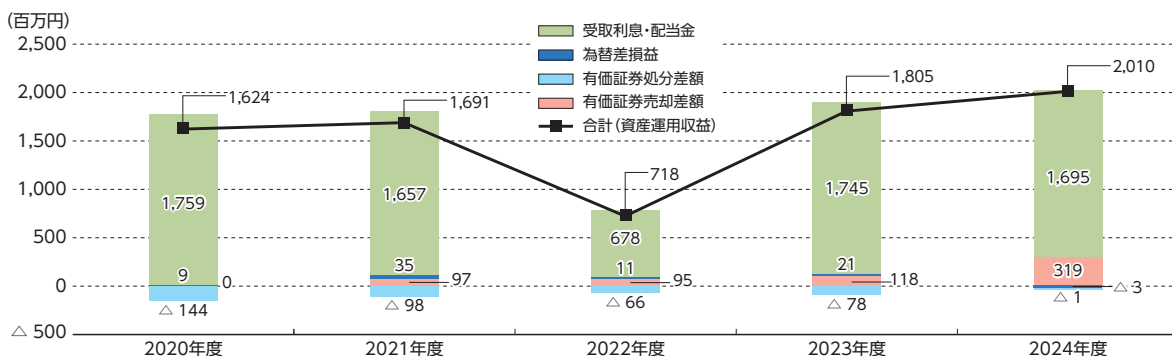
2025年度は、円ベース債券の期待リターンが引き続き低迷する見通しのもと、プライベートアセットへの段階的シフトを進め、外貨比率に留意しながら安定的な収益の確保を目指します。また、2015年より署名している国連責任投資原則（PRI）に基づき、ESG（環境・社会・ガバナンス）や社会的インパクトを考慮した資産運用を引き続き推進してまいります。

資産運用結果の推移

(単位：百万円)

区分	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
受取利息・配当金	1,759	1,657	678	1,745	1,695
有価証券売却差額	0	97	95	118	319
有価証券処分差額	△ 144	△ 98	△ 66	△ 78	△ 1
為替差損益	9	35	11	21	△ 3
合計（資産運用収益）	1,624	1,691	718	1,805	2,010

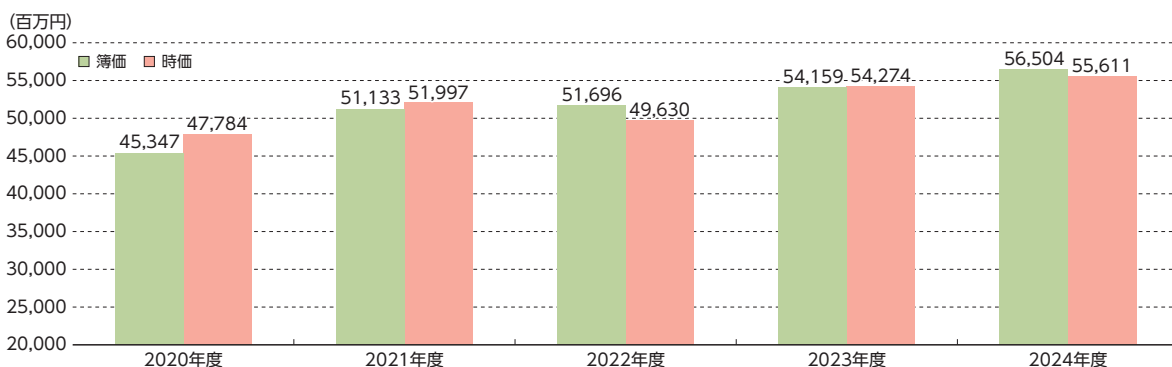
注：「受取利息・配当金」は基本金運用収入を含む額である。



有価証券の時価の推移

(単位：百万円)

区分	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
簿価	45,347	51,133	51,696	54,159	56,504
時価	47,784	51,997	49,630	54,274	55,611
差額（時価－簿価）	2,437	864	△ 2,066	115	△ 893



収益事業の状況

本学は所有する建物の一部にテナントを入れることで家賃収入を得ています。この場合、私立学校法に基づく収益事業（不動産貸付業）に該当するため、企業会計に基づく会計処理と計算書類（損益計算書、貸借対照表）の作成が義務付けられています。

損益計算書

(単位：百万円)

区 分	2024年度 (A)	2023年度 (B)	増減 (A - B)
売上高	1,491	1,489	2
販売費・一般管理費	767	748	19
営業外収益	2	0	2
営業外費用	12	14	△ 2
学校会計繰入金支出前損益	714	727	△ 13
学校会計繰入金支出	450	450	0
税引前当期純損益	264	277	△ 13
法人税、住民税及び事業税	98	95	3
当期純損益	166	182	△ 16

貸借対照表

(単位：百万円)

区 分	2024年度 (A)	2023年度 (B)	増減 (A - B)
流動資産	2,244	2,236	8
固定資産	6,058	6,363	△ 305
資産合計	8,302	8,599	△ 297
流動負債	998	561	437
固定負債	2,264	3,164	△ 900
負債合計	3,262	3,725	△ 463
純資産合計	5,040	4,874	166
負債・純資産合計	8,302	8,599	△ 297

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

概要

〈損益計算書〉

売上高及び販売費・一般管理費とも前年度と比較してほぼ同額で、売上高は1,491百万円、販売費・一般管理費は767百万円となりました。税引前当期利益は264百万円となり、前年度比13百万円の減少となりました。なお、当期は学校法人会計へ450百万円を繰り入れています。繰入金は、教育研究活動に活用していく計画です。

〈貸借対照表〉

流動資産は普通預金が増加し、固定資産は減価償却により減少しました。固定負債の減少は、借入金の減少によるものです。

その他

借入金明細表 (令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

借入先		期末残高 (単位:円)	利率 (%)	返済期限 (年月日)	摘要 (使途)
長期 借入金	公的金融機関				
	日本私立学校振興・共済事業団				
	22 一般施設	216,650,000	1.60	R.12.9.15	上智大学目白聖母キャンパス 1号館新築(学)聖母学園からの継承分
	23 特別施設	1,129,620,000	1.70	R.13.9.15	上智大学祖師谷国際交流会館取得
	26 一般施設	1,199,970,000	0.90	R.16.9.15	上智大学新棟(6号館)建設
	27 一般施設	1,444,400,000	0.80	R.17.9.15	上智大学新棟(6号館)建設
	30 特別施設	1,083,290,000	0.80	R.20.9.15	信濃町国際学生寮建設
	23 一般施設	43,320,000	1.60	R.13.9.15	上智福岡中学校・高等学校校舎改修 及び新棟建設
	23 一般施設	67,620,000	0.50	R.13.9.15	上智福岡中学校・高等学校校舎改修 及び新棟建設
	24 一般施設	22,320,000	1.50	R.14.3.15	上智福岡中学校・高等学校校舎改修 及び新棟建設
	27 一般施設	550,000,000	0.50	R.17.9.15	栄光学園中学校・高等学校新校舎建設
	小計	5,757,190,000			
市中金融機関					
(株)みずほ銀行	225,000,000	0.407	R.12.7.10	学生緊急支援資金	
(株)広島銀行	0	0.31	R.8.3.2	広島学院落石等危険箇所対策工事費	
小計	225,000,000				
その他					
宗教法人カトリックイエズス会	1,300,000,000	0.015	R.21.3.31	上智大学14号館用土地建物購入 (メリノール)	
宗教法人カトリックイエズス会	60,000,000	0.00	R.14.3.25	六甲学院中学校・高等学校校舎改築	
小計	1,360,000,000				
計	7,342,190,000				
短期 借入金	公的金融機関				
	小計	0			
	市中金融機関				
	小計	0			
	その他				
小計	0				
返済期限が1年以内の長期借入金	874,910,000				
計	874,910,000				
合計	8,217,100,000				

財務の概要

学校法人の出資による会社に係る事項

当学校法人の出資割合が総出資額の2分の1以上である会社の状況は次のとおりである。

名 称	株式会社ソフィアキャンパスサポート				
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・建物及びその付属施設設備の清掃、警備、営繕、保守並びに管理業務 ・食品、清涼飲料水及び酒類の販売並びに販売管理業務 ・損害保険代理店業および生命保険の募集に関する業務 ・教育・事務用機器、計器、文房具類等の販売、仲介及び斡旋 				
資 本 金 の 額	20,000,000 円 (400 株)				
学校法人の出資金額等及び当該会社の総株式等に占める割合並びに当該株式等の入手日	平成27年2月2日 20,000,000 円 (400株) 100%				
当期中に学校法人が受け入れた配当及び寄付の金額並びに学校法人との資金、取引等の状況	(単位：円)				
当該会社からの受入額	配当金	0	特別寄付金	70,000,000	
	現物寄付金	0	賃貸料	1,108,800	
当該会社への支払額	受取利息	0	雑収入	27,281,547	
	消耗品費	18,720,077	修繕費	417,802	
	委託費	787,762,901	会合費	12,618,336	
	(単位：円)				
		期首残高	資金支出等	資金収入等	期末残高
当該会社への出資金等		20,000,000	0	0	20,000,000
当該会社への貸付金等		0	0	0	0
当該会社への未払金		0	0	1,931,190	1,931,190
当該会社からの借入金		0	0	0	0
当該会社からの未収入金		0	0	0	0
保証債務	なし				

名 称	ソフィアメディカルインフォ株式会社				
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関向け多言語医療情報アプリの開発と医療機関等への普及 ・旅行代理店や旅行保険事業者を通して訪日外国人等への多言語医療情報提供アプリの普及促進 ・多言語情報システムに係る教育及びコンサルティング ・多言語情報アプリの企画、開発及び販売 等 				
資 本 金 の 額	38,000,000円 (760 株)				
学校法人の出資金額等及び当該会社の総株式等に占める割合並びに当該株式等の入手日	平成30年10月1日 26,000,000 円 (520株) 68%				
当期中に学校法人が受け入れた配当及び寄付の金額並びに学校法人との資金、取引等の状況	(単位：円)				
当該会社からの受入額	配当金	0	特別寄付金	0	
	現物寄付金	0	賃貸料	0	
当該会社への支払額	受取利息	0			
			消耗品費	0	
	(単位：円)				
		期首残高	資金支出等	資金収入等	期末残高
当該会社への出資金等		26,000,000	0	0	26,000,000
当該会社への貸付金等		0	0	0	0
当該会社への未払金		0	0	0	0
当該会社からの借入金		0	0	0	0
当該会社からの未収入金		0	0	0	0
保証債務	なし				

経営状況の分析等

■ 経営状況の分析（財務比率は2020～2024年度の5か年平均）

○事業活動収支

収入面では、経常収入に対する学生納付金比率は66.5%となっており、他法人平均76.8%^(※)と比較して約10ポイント低い値となっています。この値は、収入源の多角化の観点から低い方が望ましいとされており、本学院では資産運用収入（経常収入に対し5.2%、他法人平均2.1%）が大きく寄与しています。その他の収入についても、寄付金比率2.2%（他法人平均2.0%）、補助金比率14.5%（同11.6%）とそれぞれ他法人の平均値を上回っており、収入の多角化が図られています。

支出面では、教育研究費比率（34.1%）において他法人平均（35.9%）を若干下回る結果となっています。本学では自己所有している学生寮を教育寮と位置づけてさまざまなプログラムを展開していますが、寮に係る経費は管理経費とされており、これを仮に教育研究経費として試算すると教育研究経費比率は1.5ポイント程度上昇することとなります。

総合的に見ると、経常収支差額比率は6.3%であり、他法人平均（6.8%）と同レベルの6%以上を維持しています。

○貸借対照表

資産のうち自己資本の割合を示す純資産構成比率は86.1%（他法人平均86.7%）であり、経営基盤は安定しています。

[※] 他法人平均 … 一般社団法人日本私立大学連盟まとめ

学生収容定員10,000～19,999人／本学を含む16法人の2019～2023年度決算平均値

■ 経営上の成果と課題

2024年度は、資産運用において前年度を上回る運用益を確保できたことなどから経常収支差額16億円を計上することができました。

2025年度は、各事業の収入増を図るとともに、多角化についてさらに検討を進めることとしています。あわせて経費の抑制を図り、2024年度に引き続き経常収支差額の目標値10億円の達成を図ります。

■ 今後の方針・対応方策

経常収支差額目標値の恒常的な達成を実現するため、既存予算の見直しなど、様々な財政施策を推進しつつ、「グランド・レイアウト3.0」に基づき、教育研究活動の活性化や学生支援の充実に向けた各種基金の拡充、老朽施設の改修やICT環境の向上に必要な財源確保のため、第3号基本金や減価償却引当特定資産の増額を図り、財政基盤の強化を進めることを方針としています。

学校法人上智学院が展開する主な事業会社

■ ソフィアキャンパスサポート

<https://sophia-cs.co.jp/>



ソフィアキャンパスサポートは学生・生徒、教職員へのサービス向上を目的に上智学院100%出資の事業会社として2015年2月2日に設立されました。事業部では損害保険、購買部、飲料自販機、学生寮・マンション紹介、卒業衣裳などの学生生活支援業務を、業務推進部では設備管理、修繕、清掃等のPM業務を遂行し、30以上の事業を展開しています。収益は上智学院に寄付され、学生・生徒への奨学金などに活用されています。

■ Sophia Global Education and Discovery Co., Ltd.

<https://jp.sophia-ged.com/>



2019年5月1日にタイの首都バンコクに開設したSophia GED社（上智学院は最大出資者）では、上智大学の教育精神をベースにしつつ東南アジアでのネットワークを活かして、質の高い実践型のスタディーツアーをはじめとする、特色と個性ある教育・研修事業を展開しています。現在では特に日本の高校生・大学生・社会人を対象として海外渡航による教育プログラムの企画と実施を行っておりますが、コロナ禍を契機としてオンライン事業の充実も図ってまいりました。コンテンツ内容の刷新も進めており、本学院設置校の高校生・大学生のみならず、多くの方が受講されています。さらに高大連携事業として、高校生向けのオンライン探究学習プログラム「せかい探究部」と海外渡航による対面での上智大学カトリック連携高校のタイ・スタディーツアーを実施しています。

沿革

1549年 (天文 18 年)	聖フランシスコ・ザビエル来日
1906年 (明治 39 年)	教皇ピオ10世のカトリック大学設立の要請とイエズス会の受諾
1908年 (明治 41 年)	大学設立のため3人のイエズス会士来日 (再渡来)
1911年 (明治 44 年)	財団法人上智学院設立
1912年 (明治 45 年)	東京市麹町区紀尾井町の土地を購入
1913年 (大正 2 年)	専門学校令により上智大学開設
1928年 (昭和 3 年)	大学令による上智大学開設
1932年 (昭和 7 年)	上智大学に専門部開設 福岡カトリック神学校開校 (1936年に泰星中学校に改称)
1937年 (昭和 12 年)	財団法人六甲中学校設立 (1950年に学校法人六甲学院に変更)
1938年 (昭和 13 年)	六甲中学校開校
1947年 (昭和 22 年)	新制六甲中学校・高等学校発足 栄光中学校開校 (1949年に栄光学園中学校に改称)
1948年 (昭和 23 年)	新制大学開設 泰星高等学校開校
1950年 (昭和 25 年)	栄光学園高等学校開校
1951年 (昭和 26 年)	私立学校法による学校法人上智学院設立 新制大学院開設 学校法人泰星学園設立
1956年 (昭和 31 年)	学校法人広島学院設立 広島学院中学校開校
1957年 (昭和 32 年)	学校法人栄光学園設立
1959年 (昭和 34 年)	広島学院高等学校開校
1964年 (昭和 39 年)	上智大学社会福祉専修科開設
1966年 (昭和 41 年)	上智大学社会福祉専修科を上智社会福祉専修学校に改組
1973年 (昭和 48 年)	上智短期大学開設
1976年 (昭和 51 年)	上智社会福祉専修学校を上智社会福祉専門学校に改組
1981年 (昭和 56 年)	教皇ヨハネ・パウロ2世が来校
1988年 (昭和 63 年)	上智大学創立75周年 上智短期大学創立15周年 上智社会福祉専門学校創立25周年
2011年 (平成 23 年)	学校法人聖母学園との法人合併 (聖母大学、聖母看護学校を併設) 泰星中学高等学校から上智福岡中学高等学校に改称
2012年 (平成 24 年)	上智短期大学を上智大学短期大学部に改称
2013年 (平成 25 年)	上智大学創立100周年 上智短期大学創立40周年 上智社会福祉専門学校創立50周年
2016年 (平成 28 年)	学校法人上智学院、学校法人栄光学園、学校法人六甲学院、学校法人広島学院、学校法人泰星学園との法人合併—新たな「学校法人上智学院」が誕生 六甲中学校・高等学校から六甲学院中学校・高等学校に改称
2017年 (平成 29 年)	イエズス会教育推進センター設立
2019年 (平成 31 年)	教皇フランシスコが来校 上智大学カトリックセンターとイエズス会教育推進センターを統合し、カトリック・イエズス会センターに再編
2022年 (令和 4 年)	上智社会福祉専門学校閉校

叡智が世界をつなぐ



学校法人 上智学院

SOPHIA SCHOOL CORPORATION



上智大学



上智大学短期大学部



栄光学園中学高等学校



広島学院中学校・高等学校



六甲学院中学校・高等学校



上智福岡中学高等学校



この印刷製品は植物由来の
インキで印刷されています



ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を支えています
FSC® C023103